

まちの子はみんなわが子

地域活動(母親クラブ) 活動事例集



— 2023 —

全国地域活動連絡協議会

絆と笑顔をつくる地域活動

私たち地域活動(母親クラブ)は、「まちの子はみんなわが子」を合言葉に、子どもたちや子育て家庭を支えるボランティアとして、地域児童の健全育成活動を地道に行ってきました。

地域によって様々なバックグラウンドを持ちながらも、共通の思いで結ばれ、子どもをまんやかにした地域の繋がりをより豊かなものにするために、全国各地で尽力しています。

今回事例集を作成するにあたって、各県・市地域活動連絡協議会に活動事例の提供を呼び掛けたところ、187の活動が寄せられました。ここで紹介するのはそのほんの一部です。

本事例集には、地域活動が実施している様々な活動や、そこから得た学びが描かれています。子育てを頑張っている親たちとともに楽しみ、寄り添い、地域の子どもたちに笑顔を届けるための様々なアイデアが紹介されています。

活動を行う中では失敗や試行錯誤もあったと思いますが、その中から見つけた可能性や喜びの瞬間も共有されています。

この事例集が、お読みいただいた皆さんにとって、新たな気づきや励ましとなり、地域の中に更なる絆を築ききっかけとなれば幸いです。どうぞ、温かな気持ちでお読みいただき、地域活動の素晴らしさを感じていただければと願っています。

宮城県	宮城県地域活動(母親クラブ)連絡協議会 「あきらちゃん&マッチョくん あそびうたコンサート」～あつまれ!じどうかんっ子!!～	1	和歌山県	旭父母クラブ(九度山町) 夏休みお泊まりCAMP	27
宮城県	しろいし母親クラブ(白石市) 「あきらちゃん出前ミニコンサート」～みんなでおどろろ うーめん体操～	2	鳥取県	地域活動組織なるみほんぼちクラブ(琴浦町) 軽トラ水族館	28
山形県	特定非営利活動法人みらい子育てネット山形 災害時に役に立つアイラップ調理講習会	3	島根県	のざと・よしのクラブ(出雲市) 伊野小学校での読み語り&花壇草取り	29
山形県	ままらんぼ母親クラブ(東根市) めぐりめぐる大げやき商店街めぐり	4	岡山県	岡山県地域活動連絡協議会 子育て支援事業「親子でレジン教室」	30
福島県	福島県地域活動連絡協議会 研修会 プリザーブドフラワー製作	5	岡山県	玉島第二母親クラブ(倉敷市) おでかけ児童館in南浦憩の家	31
茨城県	茨城県地域活動連絡協議会 親子の居場所を創り隊!～各地域に子育て親子が集える場所を!～	6	広島県	広島県地域活動連絡協議会 水の事故から自分の命を自分で守る訓練「浮いて待て」事業	32
茨城県	栄母親クラブ(つくば市) 秋のオカリナコンサート	7	広島県	二川地域活動連絡協議会(呉市) ほう酸団子作りと地域配布活動	33
群馬県	ぐんま地域活動連絡協議会 三世代交流会～楽しく遊んで健康づくり・人づくり～	8	広島市	広島市地域活動連絡協議会 交通安全キャンペーンに参加、協力	34
群馬県	大泉町母親クラブ(大泉町) 人形劇	9	広島市	楠那母親クラブ(広島市南区) 子育てルーム く・す・な	35
相模原市	みらい子育てネットさがみはら連絡協議会 【子育て支援者研修会～育ててっかい支援の輪】2023テーマ「多様性を大事にする教育とは～相模原の現状とこれから～」	10	山口県	山口県地域活動連絡協議会 児童虐待防止活動(オレンジリボン運動)の取り組み	36
相模原市	南ブロック みらい子育てネット鶴の子(相模原市南区) ①マタニティ&子育てママ&子育て支援者の会 第三親子遊びの会 ②児童館であそぼう みんな一緒にふれあい広場「音楽遊び」	11	山口県	於福ほほえみの会(美祢市) なかよし交流会	37
新潟県	みらい子育てネット・新潟 ①秋の児童館まつり ②スキルアップ研修(オンライン)	12	愛媛県	愛媛県地域活動連絡協議会 子育て応援ふれあいフェスタ	38
新潟県	児童育成・万代クラブ(新潟市) 万代あそびフェスティバル	13	松山市	松山みらいクラブ連絡協議会 『100円の大切さを知ろう』	39
石川県	みらい子育てネット石川県地域活動連絡協議会 自然体験ともだちづくり～自然とふれあい遊び～	14	松山市	中島みらいクラブ(松山市) プレーパーク	40
石川県	動橋げんきクラブ(加賀市) 「りんご・りんご・りんご!!」～りんご狩りとりんごクッキングとりんごお届け事業～	15	北九州市	北九州市地域活動連絡協議会 児童虐待防止キャンペーン・非行防止キャンペーン	41
福井県	福井県みらい子育てネット母親クラブ連絡協議会 令和5年度総会後の研修会「宇宙飛行士ちゃんパパの子育て術」	16	北九州市	牧山児童館母親クラブ(北九州市小倉北区) いきいき子ども講座「楽しいマジックショー」	42
福井県	花みずき母親クラブ(鯖江市) かわだ文庫と共催事業「こどもの喜ぶ絵本活動」	17	佐賀県	東与賀よいしょクラブ(佐賀市) 市立図書館で月第2・4土曜日に行う“お話し会”	43
静岡県	静岡県地域活動連絡協議会 “こどもと一緒に”楽しい交流研修会	18	熊本県	りんどうクラブ(熊本市) 椎茸菌うち体験	44
静岡県	みらい子育てネット牧之原(牧之原市) 知って得する楽しい食育の会	19	大分県	大分県地域活動連絡協議会 母親クラブ指導者・事務担当者研修会	45
静岡市	みらい子育てネット静岡市 サイエンスピクニック	20	大分県	匠南母親クラブ(佐伯市) こども祭り	46
静岡市	ゆい母親クラブ(静岡市清水区) Oh! My House	21	宮崎県	宮崎県地域活動連絡協議会 2022未来みやざき子育て応援フェスティバル	47
愛知県	愛知県地域活動連絡協議会 ①公園遊具・防犯点検活動 ②交通安全啓発活動(手作りマスコット配布) ③親子交流会(み子ネットフェスタあいち)	22	宮崎県	みなと児童館地域活動クラブめばえ(都農町) こどもカフェどんげね	48
愛知県	みらい子育てネット瑞鳳(尾張旭市) 瑞鳳子育てひろば	23	鹿児島県	紙ふうせん(南さつま市) 朗読劇	49
兵庫県	兵庫県地域活動連絡協議会 兵庫県大会	24		地域活動(母親クラブ)の大きな活動の柱「5つの活動」	50
兵庫県	道親くらぶ(加古郡稲美町) 加古郡こどもふおーらむ in いなみ	25		全国地域活動連絡協議会の概要	51
和歌山県	和歌山県地域活動連絡協議会 クラブ大会開催、機関紙「子らは伸びゆく」発行	26			

地域活動連絡協議会とは
都道府県(指定都市・中核市)内の児童の健全育成を推進するための地域活動を行う自主的組織(母親クラブ等)で構成された団体です。
本事例集は地域活動連絡協議会の活動もしくはその協議会の単位クラブ(母親クラブ等)の活動事例を紹介しています。

「あきらちゃん&マッチョくん あそびうたコンサート」 ～あつまれ!じどうかんっ子!!～

宮城県地域活動(母親クラブ)連絡協議会

現在の会員数：20クラブ 598人

事例data

実施日もしくは実施期間	2022年9月8日(木)	参加人数	98人
参加対象者	未就学児と保護者、 児童館職員、気仙沼市の 5つの母親クラブ会員、他	実施場所・実施会場	気仙沼中央公民館

活動の目的

■親子の触れ合いや多世代間の交流の場を設け、親子でふれ合うことの楽しさや、友達づくりなどの機会を提供し、母親クラブのつながりや関係機関・児童館との連携の中で、地域全体で「親育ち」や「子どもの育ち」を支援することを目的とします。

具体的な活動内容

- 「あきらちゃん&マッチョくん」による「あそびうたコンサート」を実施。
児童館を利用している赤ちゃんから大人まで、歌ったり踊ったり触れ合ったり、時には子育て中の親に向けてのメッセージもあり、皆が笑顔と元気をもらえるコンサートを実施します。
- 10:00 開場
- 10:30 開会行事
あいさつ(県会長、気仙沼市地協会長)
- 10:40 「あそびうたコンサート」
(あきらちゃん&マッチョくん)
- 11:00 閉会・挨拶
- 11:30 終了後、振り返りの時間

活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

■東日本大震災で津波の被害を受け、移転して新しく建てられた中央公民館で実施しました。
あきらちゃん&マッチョくんによる「あそびうたコンサート」は、5つの児童館を事務局として活動している5つの母親クラブの交流の場にもなりました。また、常日頃、育児をがんばっている親にとっては、日々のストレス発散の場ともなり、さらに、親子のふれあいや、笑顔になれる楽しい時間にもなりました。

特に、子どもたちがリズムをとって踊る姿はとても微笑ましく、それを見ている親たちも楽しそうでした。
会場が一つになり楽しいひとときを過ごすことができ、多世代交流の場にもなりました。



「あきらちゃん出前ミニコンサート」 ～みんなでおどろう うーめん体操～

しろいし母親クラブ(白石市)

現在の会員数：大人27人

事例data

実施日もしくは実施期間	2023年6月～12月 7日の付く「うーめんの日」などに開催	参加人数	延べ550人
参加対象者	市内保育園・幼稚園児、子育て支援センターの子育てひろばに参加の親子、保育士、他	実施場所・実施会場	市内保育園・幼稚園、子育て支援センター

活動の目的

■食育推進の観点から、子どもたちや子育て親子に、郷土料理としての白石特産の「うーめん」に興味や親しみを持ってもらえるように、毎月7日の「うーめんの日」などに、「白石うーめん体操」を作詞・作曲したあきらちゃんと一緒に、市内の各保育園・幼稚園、子育て支援センター等を訪問します。

「手遊び」や「うーめんクイズ」、「うーめん体操」などを踊ったりするミニコンサートを開催し、楽しい時間を過ごすことで、「うーめん」を身近に感じてもらいます。
また、触れ合ったり、運動することの楽しさに加え、母親クラブとしてかたわらで子育てのサポートをしていること等もPRし伝えます。

具体的な活動内容

- 9:45 スタッフ打合せ
「あきらちゃん&マッチョくん(時にはあんこちゃん)」
母親クラブ数名、白石市子ども家庭課担当職員3名
- 10:00 ミニコンサート開始
◇あきらちゃん・マッチョくん登場
「まどふきキュッキュ・他」
◇母親クラブ手遊び
「げんこつやまのたぬきさん、他」
- ◇子ども家庭課職員の
「すずきみえもん」と「かわいいもん」
「うーめんクイズ」
- ◇みんなでおどろう「うーめん体操」
- 10:30 うーめんのプレゼント(うーめん製造会社の方より)
全員で写真撮影
- 10:35 ミニコンサート終了

活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

■園児はみんな「うーめん体操」が大好きで踊るので、最後のみんなでおどろう「うーめん体操」は大変盛り上がりです。そして園児からは、「楽しかった」「うーめんが大好き」といった声が聞かれました。
また、保育園ではその日の給食のメニューは、大体が「うーめん料理」のようです。

子育て支援センターのひろばで参加してくれた親子の皆さんは、「とても楽しいイベントを企画してくれて、本当に嬉しいです。子どもも踊ったりしていて、楽しく参加させてもらいました。今日はお昼にうーめんを食べようと思います。」などの話が聞けました。
毎回のよう、県内のテレビ局が取材に来ており、テレビで放映されています。



災害時に役に立つアイラップ調理講習会

特定非営利活動法人みらい子育てネット山形

現在の会員数：22クラブ 1,275人

事例data

実施日もしくは実施期間	2019年11月7日(木)	参加人数	一回につき30人程度 要請にて開催 延べ300人程度
参加対象者	地域の親子、地域の大人	実施場所・実施会場	児童館、子育て支援施設など

活動の目的

■災害時に役に立つアイラップ調理を学ぶことで、災害時はもちろん、日ごろの調理の時短やアウトドアなどでも活用できるように考えました。また母親だけでなく父親や子どもたちも学ぶことで、だれでも調理が簡単においしくできるようになればと計画しました。

県で実施した後は単位クラブ向けにこの講座を募集して、やりたいクラブへ出向いて行く、巡回事業としても展開しました。

具体的な活動内容

- 蟹沢赤十字奉仕団の方たちから、やり方を学びます。
- 赤十字より災害時用の大鍋を借り、それにお湯を沸かします。(自宅などでは大きなお鍋で可能)
- ご飯やおかずを耐熱用ポリ袋に入れ、大鍋に入れて煮ます。
- 出来上がったものをみんなで試食します。

活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

- 多くの人が実際にやってみることで、簡単においしくできると驚き、自宅でもやってみているという人もいました。
- 災害で使うことはまだありませんが、母親を休ませるために父親と子どもでアイラップ調理で食事を作ったとの報告がありました。
- この調理法を知ったことで、災害が起きた時でも、食を確保することができると思うと、安心が増えたように感じます。
- みんなで協力して活動することで、災害時も協力することが大事だということを学びました。
- アイラップは離乳食を作るときにも使え、とても便利だったという意見もありました。



めぐりめぐる大けやき商店街めぐり

ままらんぼ母親クラブ(東根市)

現在の会員数：大人30人 子ども10人

事例data

実施日もしくは実施期間	2020年10月25日(日) 以降年に1回計3回開催	参加人数	1回につき120人程度 延べ374人
参加対象者	地域の親子、商店街の方々、 会員、地域の大人	実施場所・実施会場	大けやき商店街 2回 東根温泉 1回

活動の目的

■親子で一緒に商店街のいろいろなお店に入ることで、子どもたちはいろいろな職業やお店があることを知ったり、大人もお店の人たちと知り合うことで、地域の人に守られて子育てしていることを感じたりできたらいいと考えています。

■今まで商店街に来たことのない人に、楽しんでお店に来てもらい、お店の人とつながることで、商店街のファンを増やしていきたいと思えます。
■東根の商店街を好きになることで、東根を好きになり、東根で育つことに喜びや誇りを持てるようになったらいいと企画しました。

具体的な活動内容

- 商店街でお店を回り、企画の内容を説明して賛同して参加していただけるお店を募ります。
- お店には100円で提供していただける商品を準備していただきます。
- 参加商店と商品を載せた地図を作成し、裏面には商店街の中に隠された問題をミッションとして掲載します。
- 1シート1,000円で購入ができ、いただける商品は20個程度準備し、お得です。
- 市内各母親クラブや子育て支援施設などで広報します。
- 申込み時は参加者と必要なシート枚数を教えてもらいます。
- 当日の新型コロナウイルス感染防止対策として、開会式などの大勢が集まることはせず、受付時間を長くとり、分散して来てもらいます。受付場所を5か所とし待ち時間も少なくなります。また、お店に入れるのは3組までとします。
- 各商店にイベント用消毒液を置きます。
- 受付を済ませた家族から、自由にお店を回ります。
- お店を全部回り、ミッションもクリアした人から最後のゲームやくじ引きなどを行い、各商店の商品券や商品をいただきます。(また商店を訪れてもらうため)
- アンケートを書いていただき終了。

活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

- 参加者には、今まで気になっていたお店に行くことができたこと、お店の人との交流ができたこと、多くのものをいただいたり食べたりできたことなど、大変喜んでいただき、次回も参加したいとの声も多くありました。
- 多くの商店の方にご賛同いただき、たくさんの準備をしていただくことができました。
- 各商店の方々も多くの方がとても楽しんでいただいたようで、次回も参加したいとの声も多くありました。
- 急に集められたスタッフではありませんでしたが、それぞれの持ち味を活かした分担をしていただくことができ、連携がうまくとれていて、一体感があったと思います。
- 参加人数は、予算やスタッフの数、お店の対応可能な人数などを考慮して決定しましたが、ちょうど良いとの声が多かったように思います。
- 新聞のコラムに掲載していただきました。(読売新聞10/13 よこおともえ氏)
- 開催日の翌日から、参加者が商店街を訪れたという報告が上がってきました。
- 何度も商店に足を運んだことで、商店の方々との繋がりが深くなりました。
- 商店街の中でいろいろな活動をしていきたいという人達が出てきて、商店と繋がって活動しようとしています。



研修会 プリザーブドフラワー製作

福島県地域活動連絡協議会

現在の会員数：2クラブ 10人

事例data

実施日もしくは実施期間	2023年6月15日(木)	参加人数	4人
参加対象者	母親クラブ会員	実施場所・実施会場	郡山市福祉センター

活動の目的

■ 少子高齢化、核家族化が進み地域での交流や世代間のふれあいが難しくなっているなか、さらに新型コロナウイルスの流行により約3年間、活動の自粛を余儀なくされましたが、今回プリザーブドフラワーの製作をしている講師を招き会員の交流を深める会を開催しました。

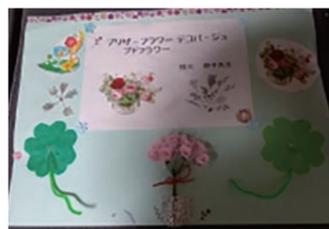
具体的な活動内容

■ 講師は大内静子先生を迎え、先生の指導で自分の好きなバラの生花を3つ選び、バラをホットメルトを使用して接着します。
初めはなかなかうまくいかず苦労しましたがお互いに和気あいあいと作業しました。
周りの飾りを考えながら自分なりの作品を作りあげ彩りの鮮やかなプリザーブドフラワーになりました。
最後にテーブルに作品を並べ参加者で鑑賞しました。

活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

■ 東日本大震災から12年が経ち少しずつ復興は見えませんが、過去に数多くあった単位クラブも原発事故による避難等から福島県の母親クラブはわずか2クラブとなっていました。
そのような中研修会を開催し、平日の行事のため4名の参加者でしたが久しぶりに顔を合わせた交流会で、自分たちの作品を見ながらお茶を飲み楽しい時間を過ごすことが出来ました。

講師の先生が私たちのボランティア活動に興味を示してくださり、会員になってくださいました。会員が1名増えたことが今回の一番の収穫でした。



親子の居場所を創り隊！ ～各地域に子育て親子が集える場所を！～

茨城県地域活動連絡協議会

現在の会員数：25クラブ 536人

事例data

実施日もしくは実施期間	2022年9月22日(木)説明会実施、その後2023年2月末までに9つのイベント実施	参加人数	説明会及び9回の事業で延べ937人
参加対象者	各地域の母親クラブ会員及び地域の協働団体・子育て親子等	実施場所・実施会場	各地域の児童館または公共施設・公園等

活動の目的

■ 少子化の波に加えて、新型コロナウイルス感染症拡大等により、地域の子育て親子が集う場が大きく制限され、親の孤立が加速して虐待・引きこもり等の心配がされています。

各地域の単位母親クラブが中心となり、地域の子育て親子の居場所をつくり、地域ぐるみで親子の繋がりを大切にすることを支援したいと考えました。

具体的な活動内容

■ 県内9か所の母親クラブが、地域の親子の居場所をつくるために、地域ぐるみで実施する事業の手助け(事業実施の相談会実施、費用の助成、マネジメントのアドバイス、広報補助等)をしました。

■ これらの活動の事例を集約し、県内各地域で共有できるように冊子として形に残し、県内全クラブ及び関係機関に配付しました。また、今後の活動に役立ててもらおうと案内するとともに、この内容について各クラブの代表者を集めてディスカッションをしました。

活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

■ 予想以上に多くのクラブが手をあげ、今までなかなかできていなかった地域の学校や幼稚園、保育所、多団体を巻き込んで、地域ぐるみでの親子の居場所づくりを実践することができました。
■ 多団体との交流を通して、母親クラブの活動について地域に広めることができました。母親クラブへの問い合わせも増え、会員増にもつながりそうだとの声も聞かれました。

■ また、これをきっかけに、定期的に地域で活動をしていくという事業も複数みられ、さらにはほかの地域でも真似をしてやってみたいという声も上がるなど、期待以上の効果が得られました。
■ 他地域の事業について学ぶことをきっかけに、地域を超えた交流も見られています。



秋のオカリナコンサート

栄母親クラブ(つくば市)

現在の会員数：大人33人 子ども12人

事例data

実施日もしくは実施期間	2022年10月11日(火)	参加人数	約40人
参加対象者	地域の大人と子ども	実施場所・実施会場	栄児童館

旗活動の目的

■日ごろ関わり合うことが少ない、地域の大人、子どもをお招きして、コンサート気分みんなで楽しむことを通して、地域のふれあい、知り合い、繋がりのきっかけを

作ります。またコンサートを開くことで、栄児童館の場所を知ってもらい、私たちの活動への声かけにもつながります。

旗具体的な活動内容

■オカリナの音色は大きな音が苦手なお子さんでも参加しやすいのではないかと考え、オカリナ桜さんをお招きして実施しました。オカリナ桜さんは同じ地域で活動している団体で、「地域の居場所」というテーマにぴったりだと思いお声をかけさせていただきました。行事をするうえで、まずはじめに、児童館の先生方との打ち合わせ、協力依頼をしました。広く広報活動をする為、コンサートのチラシを作り、ポスティングや配布、掲示、母親クラブのサイト、児童館ホームページへの掲載等を行いました。

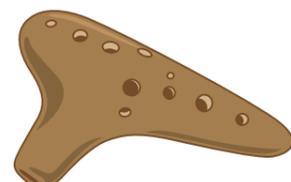
会場の準備としては、オカリナ桜さんの控室準備の他、壁飾りを秋をテーマに作成しました。また、感染症対策も必要だったので、入場前の検温と消毒、受付名簿への記入をお願いしました。当日は、小さな世界・ミッキーマウスマーチ・となりのトトロなど、子ども向けの曲を演奏していただきました。また、LOVE LOVE LOVE・翼をくださいなど大人が聴いてもうっとりする曲の演奏もありました。ペープサートを使っての演目もあり、大いに楽しめる内容でした。

旗活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

■開催までの時間が少なかったため、準備や当日の運営も大変ではありましたが、児童館の先生方にも全面的に協力いただき、今までの母親クラブの活動の中でも児童館と一緒に作り上げた活動にすることができました。栄母親クラブでは全体で行う行事が少ないため、大人クラブ・親子クラブ・児童館の先生方とみんなで協力できたことは大変有意義なことでした。また、会員が積極的に来場者とお話をしたり、案内をしていたのが印象的でした。

赤ちゃんがコンサート中に寝られるほど、心地よい音色で、大人も大変癒されました。このコンサートをきっかけに親子クラブに見学に来ていただいた方や入会を決めた方もいらっしゃいました。この活動がたくさんでなくてもきっかけの一つになれたことがとても嬉しかったです。

参加された方からは、「とても素敵でした」「癒されました」というお声かけが多かったです。オカリナでこんなに色々な曲ができるんですね、会場のうしろの扉を開けていたので、子どもが抜け出して別の部屋にいても聞こえてきたので参加できて良かったです、などの感想もありました。

三世代交流会
～楽しく遊んで健康づくり・人づくり～

ぐんま地域活動連絡協議会

現在の会員数：12クラブ 287人

事例data

実施日もしくは実施期間	2022年10月15日(土)	参加人数	約90人
参加対象者	児童館利用者、クラブ会員とその家族	実施場所・実施会場	太田市藪塚本町社会体育館

旗活動の目的

■子ども達が、異年齢の子どもや、親世代、祖父母世代や地域の方々と関わり、新たな学びを得ることでさまざまなものへの興味関心を高めます。

三世代交流の場を提供し、参加者の拡充を図るとともに、地域での子育てに興味を持ってもらうことで、参加者が参画者(担い手)へと育ってほしいと考えました。

旗具体的な活動内容

■前半は、新聞紙の可能性をテーマに「しんぶんしであそぼう!」と題し、参加者全員で新聞紙を使ったゲームや的当て遊びを楽しみます。会場には、新聞紙で作ったスリッパやバッグなどの日用品やおもちゃなども展示し、災害時でも重宝する利用法を紹介します。

後半は、地元沼田市出身の子ども向けエンターテイナーせきあっしさんによるショータイムを楽しみます。

旗活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

■コロナ禍での開催の為、人数制限もありましたが、県内の会員や家族ら約90名が参加しました。前半の新聞紙を丸めて的に当てるゲームは、子どもたちに好評で楽しんでもらえました。「身近にある新聞で、これだけ多岐にわたる遊びができることに驚いた。」と、大人にも好評でした。新聞紙で作ったエコバッグの作り方を知りたいという参加者もいて、改めて新聞紙の可能性を知るきっかけになりました。

後半のせきあっしさんのショー「人間紙芝居」では、大人も子どもも大爆笑で楽しいひとときを過ごすことができました。



人形劇

大泉町母親クラブ(大泉町)

現在の会員数：大人80人

事例data

実施日もしくは実施期間	通年 公演は年に9回以上	参加人数	1公演につき、 およそ30人～100人
参加対象者	地域の子どもから大人まで	実施場所・実施会場	町内の児童館、小学校、 幼保育園、近隣の児童施設など

旗活動の目的

■日頃なかなか観る機会のない生の人形劇を通じて、子どもたちに人形劇の魅力を発信します。

手作り人形のやさしい雰囲気やふれることで、心あたたまる時間を過ごしてもらおうと共に、映像や絵本とはまた違った世界で、想像力や感性を育ててほしいと思っています。

旗具体的な活動内容

■年間を通じて、主に絵本のお話を題材とした人形劇を制作、公演。毎週木曜日の10時～12時に児童館に集まり活動しています。主な演目は、『3びきのやぎのがらがらどん』『たまごにいちやん』『さるとかに』『11びきのねこ』『スイミー』など。春には、県内でも人気の大型児童館「ぐんまこどもの国児童会館」で行う母親クラブフェスティバルのステージ発表として公演し、多くの家族連れに人形劇を楽しんでもらう機会になっています。町内では、4つの児童館を巡回公演。地域の乳幼児親子や幼稚園、保育

園児を招待して人形劇を披露する他、クイズや手遊び、リズム体操などを盛り込み、子どもたちと楽しい時間を共有しています。6～7月には、町内4つの小学校を回り観劇会を実施。小学2年生を対象に、国語の教材でもある『スイミー』を題材とした人形劇を楽しんでもらうことで、物語の理解を深める一助となっています。その他、依頼があれば、町内外の保育施設や小学校などへの出張公演も行い、より多くの子どもたちに人形劇の魅力を届けられるよう活動しています。

旗活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

■デジタルには慣れていても、人形劇というものを観たことがない子どもが多いせいか、ほとんどの子は、初めて見る世界に目をキラキラさせて興味津々に観てくれます。前方で座って観ていた子がつい身を乗り出して、後ろの子に見えないと注意されることもしばしば。参加型のクイズなどでは、みんな思い思いに大きな声で答えてくれて大盛り上がりになります。公演後、児童館の先生から、「赤ちゃんや小さい子どもとても集中して見ていた」「音楽に合わせて体を動かしていた」などと聞くと、物語がまだ理解できない乳幼児にも十分楽しんでもらっていると実感します。「あまり絵本に興味を示さない子も人形劇は飽きずに見れた」とか「人形劇をきっかけにその絵本をリクエストされるようになった」という保護者の声も耳にします。特に私たちの看板劇でもある『スイミー』は、好評につき10年以上も毎年手を加えながら公演し続けているロングラン!観劇の後には、たいいてい児童一人一人が書いてくれた感想文を戴くのですが、

「お話の意味が分かった」「登場するキャラクターが印象に残った」「迫力があつた」など、楽しかった、おもしろかった、また見たい、といったうれしい言葉がズラリ。外国籍の子どもも多いですが、言葉がよく分からなくても人形劇なら楽しめます。観劇後の質問コーナーでは、次々と積極的に手を挙げて発言する子が後をたたく、舞台装置や人形に関する質問も尽きません。教科書だけでは味わえない、生で観る臨場感が、大いに子どもたちの五感を刺激しているように思います。過去に観たことのある高学年の子どもたちも、私たちが道具を搬入しているのを見ただけで「スイミーだ」と目を輝かせているのを見ると、成長しても楽しい思い出として心に残っているのだと感じます。ある小学校では、保護者にも参観を呼びかけたところ、児童と同じくらいの人数の参加があり、親世代も非常に興味があることに驚きました。家庭でも人形劇の話題で親子の会話がはずんでいるのであればうれしい限りです。



【子育て支援者研修会～育てでっかい支援の輪】
2023テーマ「多様性を大事にする教育とは ～相模原の現状とこれから～」

みらい子育てネットさがみはら連絡協議会

現在の会員数：3クラブ 110人

事例data

実施日もしくは実施期間	毎年開催、2023年10月27日(金)	参加人数	毎回50人程度、2023年は79人
参加対象者	子育て支援者、保護者、 市職員など	実施場所・実施会場	市の施設 (相模原市立男女共同参画推進 センターソレイユさがみ)

旗活動の目的

■子育てを取り巻く状況や幅広い知識をその時代に合わせて学ぶことで、子育て支援者の活動に活かせることを目的としています。2023年は「相模原市の義務教育の現状と課題」をテーマに、小学

校や中学校に通う子どもたちへの取り組みを市の教育委員会からお聞きし、実際に保育者が感じている悩み等に私たち支援者がどう活用できるか考えることを目的としました。

旗具体的な活動内容

- ①青少年相談センターより講演
相談室の案内や利用システムなどのお話をさせていただきます。
- ②教育センターより講演
いくつかのグループに分かれ、ICT教育の体験として端末1台を配布し実際の授業のように問題の解答を入力します。

- ③②でつくったグループの形のまま、テーマについて意見交換を行い代表のチームのみ発表します。
- ④質疑応答
- ⑤会場内に子育て支援者の活動内容がわかるようなパネル展示や資料の配架を行います。

旗活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

- テーマに対する意見交換では、それぞれの立場からおかれている状況を話し、地域での活動の難しさ、学校へ行きたくともいけない子どもに、本当に必要な支援とは・・・等、活発に意見が上がりました。
- 質疑応答
 - ICT教育が進むからと言ってすべてに当てはまる教育とは言えないのではないか。
 - ⇒確かにそうです。これからはそれぞれにあった教育を模索していく必要はあります。
 - 相談指導教室へ入るのに半年もかかった。子どもにあった場所に早くつけてほしい。
 - ⇒急いでしまいで途中で行かなくなる場合もあるので、心理やSSW、他お子さんの状態を見ながら慎重にすすめています。
 - 行政サービスは公立校の児童だけが利用できるのか。
 - ⇒相談はどなたでもお受けできます。ただ、多くの相談にすぐに対応しきれないところもあります。

- 感想
 - 少人数のグループになったので和気あいあいと話せて良かった。皆さんの苦労が分かった。
 - 多様性がテーマだったので参加した。外国籍の夜間中学、まさに多様な対応を求められる。多様性を尊重するのは自分自身が変わらなければならない。各自の問題と思う。
 - 小児科で相談受け付けをしているが発達障害の子どもであふれている。相談先が不足しているのではないか。

今回の研修会を開催し、保護者の参加も多くあり、支援者と求めている情報が違うので今後は分けて開催することが必要と感じました。また、悩みを抱える保護者が多く、行政の対応が追い付いていない、または利用されにくいなど課題が多いこともわかりました。それらを解消するためにも保護者の声を吸い上げ、ともに考えていく場の充実が求められると感じました。



① マタニティ&子育てママ&子育て支援者の会 第三親子遊びの会
② 児童館であそぼう みんな一緒にふれあい広場「音楽遊び」

南ブロック みらい子育てネット鶴の子(相模原市南区)

現在の会員数：大人28人 子ども10人

事例data

実施日もしくは実施期間	毎年開催 ①② 2023年4月～2024年3月 毎月	参加人数	①1回につき、10人延べ120人 ②1回につき、15人延べ180人
参加対象者	地域の大人、地域の子ども、 クラブ会員	実施場所・実施会場	①公民館、町内会館 ②谷口児童館

 活動の目的

- ① 子育て中の悩みや、妊娠出産時の不安な気持ちなどを一人で抱え込まないように、コーディネータースタッフがその経験を活かして、情報提供や相談を受け、負担感の軽減を図ります。
- ② 午前中の児童館を利用し、地域の保護者・子どもが交流します。また、音楽遊びを通して、情操や身体の発達を図ります。

 具体的な活動内容

- ① 助産師はじめ地域の支援者が中心スタッフとして、主に未就学児を持つ母親を中心に、子育て、食事、遊び場所・絵本の紹介、保護者・子ども共々の健康などを話し合います。年1回は、講座として「子どもの性を通して、子ども自身が自分を大切にすることを考える機会」の話を助産師さんからして頂いています。
- この活動では若い方々の自己肯定感を大切に、良い面を伸ばす力になれるよう心がけています。スタッフも若い方々からいろいろと教えて頂くことも多々あります。夏休みなどは、小学生、幼稚園児が来て、みんなで一緒に遊んだりもしています。
- 当活動は、相模原市地域子育て支援事業として、みらい子育てネットさがみはら連絡協議会、こども家庭課の協

- 力のもと、活動場所である公民館・町内会館の年間予約がとれたり安心して活動ができています。
- ② 30分単位で「自由遊び」「音楽遊び」を行っています。「自由遊び」は児童館が前日用意してくださっている、ままごとセット、積み木、ブロック、ミニカー、トランポリン、ピアノ、図書室の絵本などで遊びます。「音楽遊び」は、短大で保育士養成の音楽を担当されていた当会員の先生によるリトミックをしたり、年に1～2回は、幼児教育経験者の会員による音楽遊びをします。今年度はとんでったバナナ、ゆりかごなどのペーパースーツを歌いながら行いました。参加者同士の交流を図れるよう、音楽が止まったら2人組、3人組となって紹介をし合ったりする等の工夫をしています。

 活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

活動の成果や効果としては、参加者が支援者にまわってくれて、事業が継続出来ているということです。支援者の輪が広がっています。

- ① 会員である助産師さんの参加で、内容の充実がはかれています。子育ての話や相談もあり、参加者同士の交流も生まれました。

- ② 会員である音楽専門の先生が、児童館のピアノなどを使って実施していることで、参加者の満足度が高いです。
- 生の音源を聞ける機会は貴重です。地域の交流がはかれていると実感します。
- 音楽遊びの前後の自由あそびでも、ピアノに関心を持つ子どもが多いと感じました。



① 秋の児童館まつり ② スキルアップ研修(オンライン)

みらい子育てネット・新潟

現在の会員数：4クラブ 大人255人

事例data

実施日もしくは実施期間	①2022年10月10日(月・祝) ②2022年11月21日(月)	参加人数	①144人 ②111人
参加対象者	①新潟県内の児童とその親子及び、こども自然王国に来館したご家族 ②新潟県内の児童館・児童クラブ職員	実施場所・実施会場	①新潟県立こども自然王国 ②オンライン

 活動の目的

- ① 新潟県立こども自然王国で開催される秋の児童館まつりにて、遊びの屋台として出店協力し、遊びを通じた児童健全育成の実現を図ります。
- ② 新潟県内に勤務する児童館・児童クラブ職員の現任者を対象とした資質向上と情報交換を目的とした研修会を実施します。

 具体的な活動内容

- ① 新潟県立こども自然王国が主催する秋の児童館まつりにおいて、遊びの屋台として、どんぐりマーケットに出店協力をし、どんぐりを使った工作体験を行いました。
- ② 神戸市立六甲道児童館館長金坂尚人氏に講師を依頼し、「あそび」+「学び」=おもしろいというテーマで、遊びを通じた児童健全育成についてのオンライン研修を新潟県児童館・児童クラブ連絡協議会と共催で実施しました。

 活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

- ① 自然素材を使った工作など、季節感のある体験活動を実施し、楽しく活動するご家族の様子をうかがうことができました。その他の出店団体においては、身近にある植物を使った草木染や、ハロウィンをモチーフとしたお化け退治ゲームなど、子どもとご家族が楽しめる内容が多くあり、出店者同士の情報交換の場にもなっていました。終始アットホームな雰囲気の中でイベントを開催する事ができました。
- ② 今こそ遊びについて考えるというテーマのもと、現場職員が目線に立った共感できる内容で、非常に有意義な研修となったと思います。
- 心に刺さる言葉が多かった。
 - 日々の業務をふり返るいい機会となった。
 - 2時間があったという間に感じられたくらい聞きごたえのある研修でした。
 - 活動してきた事を言語化してもらったように思う。など、実施後の参加者アンケートからも満足度の高さを伺える回答を得られました。



万代あそびフェスティバル

児童育成・万代クラブ(新潟市)

現在の会員数：55人

事例data

実施日もしくは実施期間	2023年9月24日(日) 毎年9月に実施しているプログラム	参加人数	132人
参加対象者	地域の幼児・小学生・保護者 地域の大人 地域活動(児童育成・万代クラブ)会員 万代児童遊園運営協議会会員 新潟東ライオンズクラブ会員 新潟市児童センター職員 学生ボランティア	実施場所・実施会場	新潟市児童センター 万代市民会館(美術工芸室) 万代児童遊園

活動の目的

■ 地域の子どもたちが、様々な遊びを通して、遊びの楽しさや人とのかかわりのよさを感じる機会にします。

■ 地域活動(児童育成・万代クラブ)会員等が、他グループの活動を知り、相互に交流を深める機会にします。

具体的な活動内容

■ 遊びの屋台形式で多彩なあそびコーナーからなるフェスティバルを実施しました。折り紙でハンドバッグを作ろうコーナー、将棋で楽しもうコーナー、オセロで楽しもうコーナー、やってみよう囲碁コーナー、つくってあそぼうコーナー、けん玉に挑戦コーナー、世界で一つだけのキャンドルを作ろうコーナー、カブラブロックで遊ぶモザイクタイルコースター作りコーナー、レッツチャレンジ〜つんでさがして〜コーナーの出店があり、地域の子どもたちが、さまざまな遊びを通して、遊びの楽しさや人とのかかわりのよさを感じる機会になりました。

また、出店コーナーの担当者は、普段から児童センターでボランティア参加している地域活動(児童育成・万代クラブ)の会員等であり、万代あそびフェスティバルでお互いの活動を知り、相互に交流を深める機会にもなりました。

活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

■ 屋内型の児童センターと、隣接する屋外型の児童遊園を一体的に活用しながら、普段では不可能な大規模で多様性のあるプログラムを展開することができました。そのために、児童センターのスタッフだけでは不可能な大規模プログラムも、児童育成・万代クラブなどの地域活動と協働することで実現することができました。

普段から児童センターという地域の活動拠点があるからこそ、子どもたちや地域住民、ボランティアなどが、安心して多様なプログラムに参加できるとの声を毎年いただいています。児童館が、児童館ガイドラインで示されている拠点性、多機能性、地域性を果たすためには、地域活動などの地域住民のかかわりが必要であることを実感できるプログラムとなりました。



自然体験ともだちづくり～自然とふれあい遊び～

みらい子育てネット石川県地域活動連絡協議会

現在の会員数：51クラブ 2,134人

事例data

実施日もしくは実施期間	2023年8月3日(木)	参加人数	子ども 26人 大人 11人(運営スタッフ)
参加対象者	会員および会員の子ども	実施場所・実施会場	いしかわ子ども交流センター 犀川緑地、河川敷

活動の目的

■ 夏休みに県内の子どもたちが集い、自然とのふれあい遊びを通してともだちづくりをします。グループワークや各種の自然を取り入れたあそびをすることで、みんなで協力する力を生み、育みます。

具体的な活動内容

■ 野あそびのプロ集団 ろぜっとわーくす代表 中山康夫氏を講師に迎え、五感を使って自然ふれあい遊びをします。

《プログラム》

- ① グループ対抗『的投げ自然さがし』
ボードに的を投げ、書いてある指令(自然)を探してくる。
- ② 河原あそび
・小石で水切り大会
・遠投大会
- ③ 空飛ぶおもちゃづくり
- ④ 作ったおもちゃで飛ばしあい競争

活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

■ 県内の子どもたちが集まり、初めてあった子とグループで活動することで誰とでも話せるようになりました。異学年の子との活動で高学年はリーダーシップを発揮してグループのメンバーを気遣いながらしっかりとまとめていました。低学年の子も自分の意見を出しコミュニケーションを取っていました。



「りんご・りんご・りんご!!」 ～りんご狩りとりんごクッキングとりんごお届け事業～

動橋げんきクラブ(加賀市)

現在の会員数：大人38人 子ども212人

事例data

実施日もしくは実施期間	年に1回11月に実施	参加人数	延べ50人
参加対象者	地域の子どもと保護者	実施場所・実施会場	加賀フルーツランド・ 動橋地区会館

活動の目的

■自然の中でりんごの収穫体験をするとともに、地域の高齢者を大切に思う気持ちを醸成します。

具体的な活動内容

1. 自然と触れ合う食育活動として、りんごの収穫体験をします。
2. 収穫したりんごを使用して、お菓子作りの調理体験をします。
3. 地区の社会福祉協議会が実施している「一人暮らし高齢者お弁当お届け事業」に協力して、収穫したりんごに「健康を願う」メッセージを添えて、地区の一人暮らしの高齢者へお届けします。

活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

- 初めてりんご狩りを体験する子どもが多く、りんご狩りを大変楽しんでいました。
- 社会福祉協議会や民生委員などの活動を子どもたちが知るきっかけになったと思います。
- 収穫したりんごを社会福祉協議会の方や民生委員・地域の区長さんなどと一緒に地域の高齢者や福祉施設へ届けることで、子どもたちの元気な顔を見ることができた高齢者が喜んでいました。



令和5年度総会後の研修会「宇宙飛行士ちゃんパパの子育て術」

福井県みらい子育てネット母親クラブ連絡協議会

現在の会員数：17クラブ 837名

事例data

実施日もしくは実施期間	2023年5月27日(土)	参加人数	25人
参加対象者	クラブ会員	実施場所・実施会場	福井県社会福祉センター

活動の目的

■小学3年生で天文宇宙検定3級・数学検定準2級・英検4級の資格を持つお子さんがどのように育ったのか、総会に出席された方の子育ての参考になればと開催しまし

た。大森パパさんに依頼したきっかけは、大森パパさんと前会長が同じ市町に在住していることから、つながりました。

具体的な活動内容

■「これまであったこと年表」に沿って大森パパが楽しく面白く話し、家庭や学校生活を普段通りの父子の会話で進めて頂けました。

活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

- お父さんが日常を楽しくさせる事(おふざけ)が上手。
- お父さんの好奇心旺盛が、子どもにチャレンジ精神や好奇心を自然に持たせている。
- 好きだからこそ諦めず、積極的に挑戦している。
- 親の姿勢次第で子どもは変わる。今からでも子どもと一緒に色々な事にチャレンジする。
- 親の興味ある事と子どもの興味ある事は違うけれど、背中を押してくれる家族や周りの人が素晴らしい。
- 自己紹介のQRコードを読み取りTwitter(X)を読むと、楽しい親子関係が分かる。など、たくさんの感想がありました。



かわだ文庫と共催事業「こどもの喜ぶ絵本活動」

花みずき母親クラブ(鯖江市)

現在の会員数：大人7人 子ども12人

事例data

実施日もしくは実施期間	2022年7月17日(日) (例年2回ほど共催)	参加人数	15人
参加対象者	母親クラブの親子、かわだ文庫が呼び掛けた地域の親子	実施場所・実施会場	河和田コミュニティセンター 交流ライブラリー

活動の目的

子どもたちの読書環境の整備、推進事業を行っているかわだ文庫と共催で、健全な心を醸成するうえにも、「子どもたちが少しでも読書好きになってほしい」「本を読んでもほしい」という目的で事業を実施します。

かわだ文庫は鯖江市図書館まで遠い子どもたちのため、子どもたちが身近なところで本・絵本に接することができ、心豊かに育ってほしいとお母さんたちのボランティアで立ち上がった団体です。子どもたちだけでなく、子育てをするお母さんの居場所でもありました。母親クラブと同じ目的を持ち、30年来、ともに活動をしています。

具体的な活動内容

かわだ文庫は、コロナ禍でも感染対策をされて、1年に2回ほど活動展開しておられ、2回ほど共催で参加しました。かわだ文庫が企画された講師の先生の読み聞かせを楽しみ、材料をもらい、読み聞かせで膨らませた想像力を発揮して、それぞれにオリジナルな絵本作りを体験します。

広報活動はラインやSNSなどでも積極的に会員さんが発信しています。過去の回では児童健全育成推進財団の助成による全国地域活動連絡協議会の児童福祉文化賞受賞図書配布事業でいただいた点字の本を活用することもありました。

活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

子どもまで、スマホなどを身近に扱うようになってきているので、出来るだけ読書などで感性を養ってほしいという声がかかりました。また、仕掛け絵本(手作り絵本)を自分で作れることは、自信にもつながり、親子で楽しい時間を過ごせたのではないかと思います。

他団体と共催することで、人のつながりや活動にも幅が生まれます。居場所があるということはとても大事で、場所があれば人が集まります。集まればコミュニケーションが生まれます。今後も地域にとって心地の良い居場所になればいいと思います。



“こどもと一緒に”楽しい交流研修会

静岡県地域活動連絡協議会

現在の会員数：4クラブ 1,272人

事例data

実施日もしくは実施期間	2023年10月17日(火)	参加人数	37人
参加対象者	県地協役員、単位クラブ会員、児童館利用者	実施場所・実施会場	カタショー・ワンラボ (旧小学校)

活動の目的

みんなで一緒に研修を受け、情報交換をすることにより、各単位クラブが自分達の活動の参考になる事例を持ち帰る機会を設けます。

具体的な活動内容

単位クラブで活動している内容を研修内容(親子活動)とし、講師は有資格者の役員が務めました。具体的には子どもの好きなわらべうた、手遊び、大型絵本の読み聞かせ等を実施しました。

開催内容の告知はSNSで会員に情報発信したり、子育て関係部署で来所者に声掛けをしてもらい、参加しやすい方法を心掛けました。

活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

役員にとっては情報交換の場となり、他の単位クラブの活動の様子もわかり、参考になる事例も聞けて、とてもよい機会となりました。顔を合わせての話し合いができて、関係機関に協力をもらいながら、同じような悩み(会員の減少、活動の変更や中止時の対策等)をどのように対処しているのかも分かり、これからの活動に生かせると感じました。

市内で参加した親子は、普段支援センターや児童館を利用して、参加者からは「楽しく参加できてとてもよかった」との感想が多かったです。今回みらい子育てネットの活動と知らないで参加してくれた方もいたので、引き続き声掛けをしてサークル活動に参加してもらうようにフォローし、その後の活動につながっています。



知って得する楽しい食育の会

みらい子育てネット牧之原(牧之原市)

現在の会員数：大人25人 子ども12人

事例data

実施日もしくは実施期間	年に2～3回不定期	参加人数	1回につき5～10人
参加対象者	クラブ会員の親子、地域の大人等	実施場所・実施会場	牧之原市榛原児童館等

活動の目的

■食育の基本について、家族のために今すぐできるヒントをみんなで楽しく学んでいます。子育てにも普通の生活にもすぐに取り入れられる役立つ情報を、テーマに沿って毎回楽しく、わかりやすく子どもと一緒に学べる講座です。

〈テーマ〉
・夏バテ予防に!たんぱく質は身体の材料
・うちが変わればカラダも変わる!
うちはカラダのバロメーター☆等

具体的な活動内容

- SNSで会員へ情報発信します。
- 子育て関係部署(子育て支援センター、児童館)にポスター掲示を依頼します。
- 先生方に来所者や子育てセミナー開催時に、みらい子育てネットの活動内容を簡単に伝えてもらい、おためし

的に参加を促します。
■仲間づくり、居場所づくりの場として申し込んでくれた方に、引き続き参加しやすい内容ややり方(当日参加OK、キャンセルOK等)にしています。

活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

参加者の感想

- 体が冷えると自律神経が崩れやすくなって、そこからいろんな不調にも繋がることがわかりました。
- 食べることで寝ることは、心と体に大事なことから理解できたし、今の自分と向き合えたとてもありがたい時間でした。
- どこのうちでも悩むようなちょっとした子どもの食の悩みなど、どこに聞いたらいいのかな…と思うようなことも先生に聞いたので参加してよかった。

■先生が毎回おっしゃってくれる、「できなくてもいいんですよ」、「そんなに全部できません」、知っているけどなかなかやれないってことと、マツタケ知らないということはちがうよと。なかなか何をやってもやりきれなくて、ついイライラもしてしまう子育ての毎日の中で、この言葉はスッと入って、肩の力が抜けます。



サイエンスピクニック

みらい子育てネット静岡市

現在の会員数：4クラブ 77人

事例data

実施日もしくは実施期間	2023年11月11日(土)	参加人数	250人
参加対象者	静岡科学館来場者	実施場所・実施会場	静岡科学館るくる

活動の目的

■みらい子育てネット静岡市は静岡科学館るくるにて、あそびのひろばを10年ほど単独主催で活動しています。3年前から科学館からお誘いを受け、自然や科学の楽しさを広めるために活動する市民団体・ボランティア団体等の活動発表会「サイエンスピクニック」に「ぶんぶんゴマを作ってまわそう!」という企画で出展しています。

を広めるために活動する市民団体・ボランティア団体等の活動発表会「サイエンスピクニック」に「ぶんぶんゴマを作ってまわそう!」という企画で出展しています。

具体的な活動内容

■みらい子育てネット静岡市は自然や科学の楽しさを広めるために活動発表して子どもたちにぶんぶんゴマの楽しさを広めています。今回は「ぶんぶんゴマを作ってまわそう」というテーマで出展しました。

- ①厚紙を2枚貼り合わせ、丸い形に切り抜く
 - ②中央に紐を通す穴を2個あける
 - ③周囲にはパンチで8個穴をあける
- そこまではスタッフが作成して、来場した子どもたちには、好きなように色を付けてもらい、実際にコマをまわし、音を出してもらいます。

活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

■親子で楽しそうに色を塗っていました。子どもが一生懸命コマをまわす練習をしていました。得意そうに教える親に、子どもが尊敬の眼差しで見たり、できない親はムキになってまわしてみたり。親子のふれあいの時間となったようです。

■ぶんぶんゴマの厚紙は牛乳パックとか廃材を利用でき、エコでご自宅でも簡単に楽しめるので、参加者からとても喜ばれます。科学館は来館者がとても多いので、たくさんの方に遊んでもらえるのは嬉しいです。主催者からも参加者からも好評で毎年ブース出展のお声がけをいただいています。



Oh! My House

ゆい母親クラブ(静岡市清水区)

現在の会員数：大人31人 子ども10人

事例data

実施日もしくは実施期間	2023年3月11日(土)	参加人数	40人
参加対象者	地域の子ども(未就学児～小学生)とその保護者	実施場所・実施会場	由比生涯学習交流館

 活動の目的

■段ボールの家づくりを教えている講師を招き、普段にはない空間と大きな段ボールを使い、家族と協力して自分だけの家(秘密基地)を作ります。

 具体的な活動内容

講師は会場の交流館から情報をいただきました。チラシは交流館に掲示してもらい、事前申し込み制にて10組の親子で募集したところ、すぐに埋まりました。地区の社会福祉協議会にもご協力いただき、力仕事などは地区社協の男性職員の手をかりました。1歳～4歳くらいが中心で、母親クラブは読み聞かせや手遊びをします。

〈ダンボールの家の作り方〉

- ①大きな段ボールを用意します⇒一辺が1メートルほどの段ボール(箱状)
- ②自分好みに家をつくります⇒カッターやはさみ(大人がサポート)を使い窓、扉、屋根などをつけたり、つけなかったりOK。
ふちを曲線にする、模様を描く、シールやテープを貼る、シャワーをつけるなどなど、それぞれの工夫でつくります。
- ③完成!隣とは違う家が出来ました。

 活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

■出来栄にとっても満足して、みんな笑顔でした。家族とつくる、普段とは違う空間で工作ができる、カッターを使う、自分のつくりたいようにつくる。など、家庭ではなかなかできない体験に高揚感がありました。子どもはもちろん、大人(サポートも含め)が結構夢中になっていました。

大物なので、持って帰るのに苦労していました。あとで、軽トラで取りにくる方もいらっしゃいました。子どもたちは一度家に入ったら、居心地が良すぎてなかなか出てこない子もたくさんいました。私たちの活動には地域の民生委員の方も参加しており、顔見知りになることで、地域で困ったことがある時に相談できるよう働きかけをしています。



- ①公園遊具・防犯点検活動 ②交通安全啓発活動(手作りマスコット配布)
③親子交流会(み子ネットフェスタあいち)

愛知県地域活動連絡協議会

現在の会員数：9クラブ 224人

事例data

実施日もしくは実施期間	①7月 ②9月 ③12月	参加人数	①12人 ②220人 ③50人
参加対象者	①県地協役員および県職員 ②クラブ会員 ③会員の親子	実施場所・実施会場	①子どもが利用する県内の公園(半田市雁宿公園) ②名古屋市中区栄(大同特殊鋼Phenixスクエア広場) ③愛・地球博記念公園(愛知県児童総合センター・ジブリパーク)

 活動の目的

- ①子どもが安心かつ安全に公園を利用することができるよう、遊具の安全性や公園の防犯面について点検します。
- ②子どもたちの交通安全を願いマスコットを作り配布します。
- ③各クラブの組織強化・活動内容の向上を図ります。

 具体的な活動内容

- ①遊具の安全性や公園の防犯面について公園を利用する保護者の視点から点検を行います。また点検結果を公園の設置者及び管理者に報告し、問題点等を提起します。
- ②子どもを交通事故から守るため、会員による手作りマスコットを作成し、街頭配布を行い地域社会における子どもの交通安全に関する意識の啓発を図ります。
- ③各地域での取組事例や活動の発表・情報交換を行い、親子・会員同士の交流の場を企画し単位クラブ組織の活性化や質の向上を図ります。

 活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

- ①子どもの安全・衛生面を第一に考え母親目線で点検をしています。公園を利用中の親子さんにお話を伺う事もあり必要な場合には点検結果報告書に併せて記入して公園管理者に提出し、後日項目別対処についての回答をいただいています。また、点検当日にTV放送局や新聞社の取材班が同行し放映・記事にされています。
- ②各クラブ(ネット)にマスコット作成を依頼します。「児童館に集まって顔を合わせおしゃべりしながら作り親睦を深めている」というネット代表者。配布の時「去年ももらって車につけてるよ、と言われ嬉しかった」「若い学生さんがわざわざ近づいてきて、かわいい!と言いながら手に取ってくれた」「幼児親子さんが一緒に選んでベビーカーにつけてい

た」等々配布の際の会話を楽しむ会員さん。交通安全を願ってマスコットを手作りし配布には県警の協力を得ておまわりさんも一緒になって声かけ・配布してくださっていることが受け取る方々にも安心感を与えているのだと思います。③活動発表を通し他地区の活動内容・現状を知ることができました。発表後の質疑応答では「会員の高齢化と若年層の新規加入が見込めないという状況は共通であることがわかりました。社会環境が著しく変化している中、活動方法を工夫し無理なく活動していきたい」と前向きな発言もありました。活動発表で地域の親子ひろばでの作品「ソックスノーマン」を参加者全員で制作した時は皆が楽しそうに完成した物を見せ合うなど喜びました。



瑞鳳子育てひろば

みらい子育てネット瑞鳳(尾張旭市)

現在の会員数：24人

事例data

実施日もしくは実施期間	年10回 (4月・8月を除く毎月第3水曜日開催)	参加人数	10家族(事前申し込み制)
参加対象者	未就園児親子	実施場所・実施会場	瑞鳳児童館内遊戯室

旗活動の目的

- 未就園児親子を対象に親子の出会いや交流を大切に地域とつながる場を提供します。
- 子育てひろば誕生の経緯
母親クラブ会員のお子さんがママとなり育児に悩む姿

をみて、わが子だけでなく子育て中のママたちを孤育てにはいけない、出かける場所、集う場所(居場所)が必要と訴え、み子ネット(母親クラブ)として地域の幼児親子さんの集える場所の提供を考えました。

旗具体的な活動内容

- 親子で制作をしたり、時には絵本読み聞かせ・紙芝居・パネルシアターで楽しんでいただいた後アンパンマン体操で親子ふれあいの時間を大切にしています。また年2回お母さんの仕事を計画し、その日はお子さんの託児をネット会員で行います。
- 運営に関しては、制作物の企画・準備を専門にする担当会員が2名、役員以外で「子育てひろば選任リーダー」を1名配置し、当日の運営(手伝いを数名確保も含め)を一

任しています。この配置により当日のスタッフも万全の体制で運営ができています。
また児童館で実施するにあたり、子育てひろばのお知らせを児童館に掲示、制作物の見本を館内に展示してもらうなど児童館職員の方にも大変ご協力をいただいています。また、当活動は事前申し込み制にしてあり、児童館を利用する親子さんに参加のお声がけをいただいています。

活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

- 会員の親子を対象に手遊び・リズム遊び・読み聞かせ・外遊び等から始まり30年になります。今は一般の方を対象に子育て中のママだけでなく祖母の参加もあります。制作物は会員の有志が季節に沿った内容で考え準備しています。参加者からは毎回喜ばれています。企画・準備・運営する人と役割を分担したことにより会員の負担軽減につなげています。



- 参加された方からは
 - ・子どもと一緒にできる制作で楽しい時間が過ごせている
 - ・簡単に素敵な作品になって嬉しい
 - ・兄弟姉妹連れ参加の方から下の子を見てくれるので上の子と一緒に過ごす時間ができるのは有難い
 - ・地域の方とのおしゃべりでホッとできると感想をいただいています。
- み子ネットの活動内容も紹介し、お誘いも含めいつか会員増につながることを期待しています。



兵庫県大会

兵庫県地域活動連絡協議会

現在の会員数：15クラブ 426人

事例data

実施日もしくは実施期間	2022年12月15日(木)	参加人数	63人
参加対象者	母親クラブ会員およびチラシなどで参加した県内の親子	実施場所・実施会場	兵庫県立こどもの館

旗活動の目的

- 単位クラブの活動発表と他クラブとの交流を図ります。大会を行うことで母親クラブの活動を知ってもらい会員外の方に向けての広報活動の一端を担います。

旗具体的な活動内容

- 各クラブから1つずつ活動発表または遊びのブースを担当し、参加者は親子でブースを回り楽しめます。
- ①パワーポイントによる活動発表
赤穂市地域活動連絡協議会のオレンジリボンの活動、こども食堂などの取り組みを発表しました。空き家を利用して、24時間いつでも利用できるフードポストの活動をしています。生活に困っている方(登録制)は暗証番号で鍵をあけることができ、必要な食べ物、服やおもちゃ、衛生用品(成人用のおむつなども)をもらえるというものです。

- ②ステージ発表
ハンドベルの演奏、手話、エプロンシアター、ダンスなど子どもも大人も楽しめる発表がありました。
- ③あそびのブース発表
魚釣りゲーム、工作(万華鏡、かえるさん)、スライムづくりなど
- ④展示の発表
参加できなかったクラブの活動を紹介したり、工作の展示をしました。

活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

- 会場となる兵庫県立こどもの館と連携し、ステージづくりのお手伝いや、横断幕作成など協力いただいています。大会当日は館内放送で紹介もいただきました。参加者からは、楽しいブースがたくさんあって、時間が足りないという声もいただきました。



- 前半の舞台発表は、体を動かしたり音楽を楽しんだり、支援活動の発表など、子どもも楽しみながら、大人にも見応えがあるものでした。後半は、工夫された遊びのブースで、大人も子どもも楽しんで、今後の活動に活かす事ができるものでした。参加者が少なかったため、広報の仕方、開催時期、日時を考えることが今後の課題です。



加古郡こどもふおーらむ in いなみ

道親くらぶ(加古郡稲美町)

現在の会員数：大人20人 子ども10人

事例data

実施日もしくは実施期間	2023年8月19日(土)	参加人数	大人98人 子ども15人
参加対象者	地域を越えて、大人、子ども、どなたでも	実施場所・実施会場	稲美町立 いきがい創造センター

活動の目的

■こども家庭庁が発足され、ようやく「児童の権利に関する条約」に規定する子どもの権利をもとに、一人ひとりが安心して過ごせる市・町・村を考えなければならないステージが用意されました。

この機に、行政と町民が、子どもの権利でつながり、子どもにやさしいまちづくりを考えたいと企画しました。

具体的な活動内容

- ①上映会「ゆめパのじかん」神奈川県川崎市にある子どもたちの居場所「川崎市子ども夢パーク」のドキュメンタリー映画。
- ②NPO法人フリースペースたまりば理事長、西野博之さんの

お話。
③稲美町長とのパネルディスカッション。進行役は、日本冒険遊び場づくり協会、東海地区委員、塚本岳さん。

活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

- 不登校経験の子の親として、子どもの居場所の必要性を感じているので参加しました。
- 教育関係者に西野さんの話を、聴いてもらいたいです。
- まずは大人のまなざしや考え方をかえてゆく必要があると思います。
- 子どものいのちを真ん中に考え、生きていけばそれでいいと思ひ、子どもの力を伸ばせる環境づくりをしていきたいと思う。(養護教諭)
- 3人の子どもが公立の学校に行っていない。自分らしく居れる場所ができれば、つくれたらいいなと思います。
- 子ども・大人、のゆとりについて、考えさせられました。
- 子どもたちのおもいが大切にされている場所だということがとてもよく伝わってきました。子どもの権利が守られ、広く知られるようになることを心から願っています。
- 子どもが安心して学び、エネルギーを高め自己肯定感を高めることができる「居場所」があることがとても大切なことだと感じました。

■子ども自身が自分たちで育っていく力を思い知らされました。なにやら涙が出そうになり、懐かしさもあり、憧れもあり、大人自身も生き方を考えさせられるすばらしい映画でした。

■一番身近な家庭で親としてかかわる心構え、声掛けのヒントをたくさんいただきました。

■子どもたちの力は大人が思っているものよりはるかに大きいと思いました。大人はもっと子どもを信用し、自由な表現が言える場所が必要だと思いました。

=道親くらぶ、事業の感想=
第一に、この提案が「子どもの居場所づくり活動支援補助金事業」となったことを評価したいです。
シンポジウムに稲美町長の参加もあり、子どもを守る地方自治の役割、官民協働のまちづくりと、具体的な話し合いが展開されることとなりました。



クラブ大会開催、機関紙「子らは伸びゆく」発行

和歌山県地域活動連絡協議会

現在の会員数：304クラブ 4,593人

事例data

実施日もしくは実施期間	年に1回定期開催(5月)	参加人数	30人～50人
参加対象者	クラブ会員	実施場所・実施会場	和歌山ビッグ愛

活動の目的

■地域における親子交流・世代間交流をはじめ、子どもの健全育成の向上及び各市町村地域活動連絡協議会の活性化を図ります。

具体的な活動内容

- クラブ大会・・・母親クラブ子どもクラブの指導者が一堂に会し、会長表彰と研修を行います。
『演題』
平成26年度 青少年を取り巻く有害環境と浄化対策
平成27年度 地域での防災力を高める研修
平成28年度 心理カウンセラーによるかかわり方の研修
平成29年度 安全防災教育についての研修
平成30年度 あいサポート研修
令和元年度 大人が変われば子どもが変わる
令和2年度 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

令和3年度 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
令和4年度 青少年を取り巻くインターネットの実態と有害環境の浄化対策
令和5年度 救急法

機関紙「子らは伸びゆく」・・・県内の各地方地域活動連絡協議会からの活動報告を取りまとめて会員に発信。

活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

- 毎年、学びの機会があるということは、子育て環境への課題意識をもち、向上心を育てることになります。ここで学んだことを各地域にもちかえり、クラブで学び直し、実践することができています。和歌山県地域活動連絡協議会は行政との連携も十分にとれており、地域活動への関心がより深まります。

■子どもを取り巻く環境に目を向けると、不登校や児童虐待、いじめやヤングケアラーなどの問題が複雑かつ多様化しています。このような中、和歌山県地域活動連絡協議会としても、全ての子どもが健やかに成長できる社会の実現をめざし、引き続き研修会や情報発信に取り組んでいきます！



夏休みお泊まりCAMP

旭父母クラブ(九度山町)

現在の会員数：大人32人 子ども16人

事例data

実施日もしくは実施期間	2023年8月6日(日)～7日(月) (1泊2日)	参加人数	大人 11人 子ども 13人(内中学生1人) 未就学児 4人 合計 28人
参加対象者	地域の大人、クラブ会員	実施場所・実施会場	和歌山県かつらぎ町、 花園ベースCAMP場

活動の目的

- 普段学校以外で友達、地域の他のご家庭などと一緒に過ごす時間がなかなか無い中、(習い事などで日が合わず)、子どもたちと時間を気にせずめいっぱい遊ぶ事を目的としました。

具体的な活動内容

- まずはじめに、どんな場所で何をしようかを考え、母親の運転でも行くことができる近場を探しました。そして役員で下見に行き、全コースを見て最終的に決定しました。
- 1日目は川遊び、夜はみんなで(子どもたちと一緒に)カレーを作って食べたり、花火をして楽しく過ごしました。2日目は恐竜ランドへ行きスタンプラリーや観覧を楽しみました。

活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

- CAMPを通じて親と子が心から楽しめる時間を作ることができました。家以外での友達や地域のみんななどのお泊まりで子ども達のステップアップにつながったのではないかと思います。(親と離れて寝るなど)カレーを子ども達と作ったり、子どもたちもたくさん協力してくれました。親は多少大変だったけれど、子ども達はまた行きたい!!と言ってくれました。
- 活動を終えてみて、みんなどのくらい食べるのか量がわからなかったのが、大人数の食事の買い出しなどの準備が一番大変でしたが、活動中は役員以外の保護者のみなさんの手伝いあつての行事進行でしたので、みんな自然と助け合うことで、子どもたちの安全を見守り、団体行動を無事に行うことができました。



軽トラ水族館

地域活動組織なるみほんぼちクラブ(琴浦町)

現在の会員数：大人53家庭 子ども63人

事例data

実施日もしくは実施期間	2023年8月3日(木)	参加人数	地域の大人:10人 クラブ会員:子・13人 大・3人 児童クラブ:18人 合計:44人
参加対象者	地域の大人 クラブ会員(子・大) 放課後児童クラブ	実施場所・実施会場	農地(田んぼ)の用水路

活動の目的

- 近年の子どもたちの経験や体験の少なさを真摯に受け止め、あえて出会いの場を設定します。子どもと大人が、楽しくふれあい、よりよい関係、支えあえる関係を創造することを活動の目的とします。

具体的な活動内容

- まず活動を実施するにあたり、地域の方への協力を仰ぎました。区長にお願いしたり、センターの前の田んぼのおじさん、隣の田んぼのおじさんへ声掛けをしました。またセンターが実施しているお茶会サロンに来る方、体操教室に参加している方にも声をかけ、協力してもらいました。
- 地域の方と一緒に「小川探検」に出かけ、Dタモとカラダを使い、小川の生きものを追込む方法を教わります。タモの中に生きものがいたら、必ず「捕ったー!」と叫び、コダマも体験します。また、その捕れた生きものを飼育ケースに入れ、軽トラの荷台にずらりと並べ、観察(軽トラ水族館)しあいます。希少な生きものも捕れ、みんなでこのきれいな小川を大切にしようとして話し合いました。

活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

- 【効果】
 - *友だちや大人と協力し合える(自分の思いも伝え、相手の思いも受け止める)。
 - *地域の人と顔見知りになれ、「なじみ」ができる。
 - *キケン予知から安全管理ができる。しても良い、悪いの判断。
 - *生きものを知ることが、大切にしている行為につながる。
 - *SDGsの3.7.8.11.12など環境を考える機会になった。
- 【感想】
 - 子ども:「めっさ楽しい。またやりたあーい」
 - 大人:「童心に返れた。また声をかけてください」
- 【まとめ】
 - *子どものかかわりには、大人のすてきな仕掛けが重要になる。子どもは、「自分は地域の人に大切にされている存在だ」と感じ、大人は、「地域への役立ち」を体感した。



伊野小学校での読み語り&花壇草取り

のざと・よしのクラブ(出雲市)

現在の会員数：大人45人 子ども67人

事例data

実施日もしくは実施期間	2004年4月～読み語り開始 2014年より花壇草取り開始	参加人数	読み語り毎週6人 月1花壇ボランティアは10人 程度延べ400人
参加対象者	地域の大人・小学生	実施場所・実施会場	小学校

旗のアイコン 活動の目的

- 地域の宝である子どもたちの為になる事を考え活動をしています。
児童の人数も減少し子どもたちだけでは出来ない事も多く、またコロナ禍により出来なくなることも増え、活動の種類は減少していますが、読み語りと花壇の草取りは変わらず継続しています。

手のアイコン 具体的な活動内容

- 毎週木曜日の朝8:30～学年ごとに、1名ずつクラスで絵本の読み語りを行います。
読み語りの絵本は、各自ボランティアが自分の好きな(得意な)本を選んでいきます。ボランティアは母親クラブの会員だけでなく、地域のおじいちゃん、おばあちゃんにも母親クラブから声をかけて誘っています。いろいろな方が関わるので、読む絵本もバラエティに富んだ内容で子どもたちも飽きません。
- 第一木曜日9:00～10:00には校庭周りの花壇の草取りを行います。
こちらも母親クラブ会員だけでなく、地域の方と一緒に活動をしています。

活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

- 子どもたちが出来ることも限界があります。全部助けるのではなく、一生懸命していても出来ない事の部分を少しだけ手伝う気持ちで、自由参加として草取りも始めました。秋の文化祭では、統合になる前の保育児童館の頃の記念写真を掲示し、親子で楽しんでもらっています。
- 毎年年度末には子どもたちからのお礼のお手紙をもらっています。子どもたちからは、読み語りのおかげで、絵本に興味があった!好きな作家さんができた!などの声があり、嬉しく思います。



子育て支援事業「親子でレジン教室」

岡山県地域活動連絡協議会

現在の会員数：61クラブ 2,689人

事例data

実施日もしくは実施期間	2022年12月6日(火)	参加人数	36人
参加対象者	地域の児童・保護者	実施場所・実施会場	倉敷市倉敷児童館

旗のアイコン 活動の目的

- 倉敷市倉敷地区に在住の未就学親子を中心に参加を募り、レジンチャーム作りを通して、保護者同士の交流と児童館利用の促進を図ります。

手のアイコン 具体的な活動内容

- 児童館にチラシを掲示してもらい、児童館を利用する親子が事前に申し込みます。
講師を招き、レジンでかわいいチャームやキーホルダー作りをします。
今は三世代家族が減り、自分の子は自分で子育てをするという保護者が多いです。お母さんにはゆったりとした気持ちで講座が受けられるように、隣の部屋で母親クラブの子育ての先輩方が託児をします。今回は15人ほ

どのお子さんを15名のスタッフで託児をしました。託児で大切にしていることは、預かるときは笑顔で母親が安心するように、子どもがどうしてもお母さんから離れないときには無理をせず見守ります。年齢に合わせて、抱っこをしたり、遊びを見守り、ゲームなどは一緒に遊びます。倉敷児童館は乳幼児に特化した部屋が完備されており、安心して託児ができます。

活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

- 参加した保護者の方たちから、
■子どもをしっかり見てくださっていて、安心してレジン作りを楽しめました。
■完成したキーホルダーがとてもかわいらしく、子どもたちも作りたいたいと言いついで、また企画してほしいです。
■同席した保護者同士で楽しくおしゃべりもできてよかったです。
■この時間はリラックスでき、趣味を楽しむことの大切さを実感できました。

等のご意見・ご感想をいただきました。子どもたちも児童館で託児スタッフと楽しく遊んで過ごせていたし、保護者の方からも大変喜んでいただけたと思います。この企画が実施でき、とても良い子育て支援ができたのではないかと思います。



おでかけ児童館in南浦憩の家

玉島第二母親クラブ(倉敷市)

現在の会員数：28人

事例data

実施日もしくは実施期間	2023年10月21日(土)	参加人数	15人
参加対象者	地域の子ども	実施場所・実施会場	倉敷市南浦(なんぼ)憩の家

 活動の目的

■「南浦(なんぼ)憩の家」がある、南浦地区は、玉島児童館から一番遠い玉島エリアにあります。地域の方から、「参加する子どもは少ないかもしれませんが、児童館に行く機会がないので、南浦地区に来てもらえるとうれし

い」との声があり、児童館の行事のひとつである、「おでかけ児童館」を、玉島児童館と玉島第二母親クラブが共催して2020年から南浦憩の家へ児童館の遊びを届けています。

 具体的な活動内容

■活動する会場については、地域の施設になりますが、毎年秋の恒例となり、施設の担当の方は、「今年も来てくれてありがとうね〜!」と協力的に貸していただいています。地域への広報活動は、おでかけ児童館のチラシを作成し、地区の愛育委員の方にお願ひし、地域の回覧版でまわしてくださいました。また、南浦小学校へもチラシを持参し、おでかけ児童館のお知らせをしました。今回、玉島第二母親クラブの発案で、水性クレヨンを使用し、みんなで窓にお絵描きをしました。部屋をお借りするにあたって、窓へ描く許可をいただくのと、試作(試し描き)をする必要があり、事前に伺っ

た時には、地域グループの方が手芸をされている時にお邪魔し、「楽しいことをするんだね」「面白そうだね」と声をいただき、児童館が来ることに歓迎していただけた。当日は、皿回しやけん玉、おもちゃの数々を玉島第二母親クラブが用意した昔あそびや、色紙に手形を押して作品を作ったり、窓のお絵描きでは晴天の中で、窓越しに空にお絵描きをしているようで、幼児から中学生までの参加者が思い思いにお絵描きをして、終わったあとに「消すのがもったいないな〜」といいながら終了になりました。

 活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

■母親クラブのメンバーに加えて地域の方も一緒になり、子どもたちと一緒に工作や昔あそびをしました。窓にお絵描きもして、思い思いの絵がひとつの作品になりました。地域の方の中には玉島地区南浦愛育委員、地区主任児童委員の方も参加されました。

子どもたちの中には、毎年参加される子どももいて、おでかけ児童館が来るのを楽しみにしてくれているようです。参加者本人からは、「楽しかった!!来年もこれで遊びたい!」という声や、「また来年も来てね!!」といった声が聞かれました。また、会員さん自身からは、「ここ2年参加させてもらっていますが、参加して下さる子どもたちの元気な声と笑顔に感激しました。来年以降も引き続き行ってみたいです」との声をいただきました。



水の事故から自分の命を自分で守る訓練「浮いて待て」事業

広島県地域活動連絡協議会

現在の会員数：1クラブ 51人

事例data

実施日もしくは実施期間	2023年7月10日(月)～19日(水) 4小学校で実施 (1小学校は、大雨警報が出たために中止)	参加人数	3年生29人 4年生49人 5年生30人 6年生50人 延べ158人
参加対象者	小学校の児童	実施場所・実施会場	呉市立港町小学校 呉市立明德小学校 呉市立両城小学校 呉市立宮原小学校

 活動の目的

■子どもたちの海や川での水の事故が発生する夏休み前に、小学校のプールで、水の事故に遭遇した時にどのようにして自分の命を守ったら良いのかを教えるとともに「浮いて待

て」を体験することで、身体で覚え、起きてはならない水の事故に対して、行動できるように訓練を行なうことを目的としました。「水難学会」の方を講師に迎えて、実施しました。

 具体的な活動内容

- ①プールにおいて、水着で背浮きを体験します。
- ②長袖・長ズボン・スニーカーを履いた状態で、背浮きを体験します。水着の時との違いを体験して、感想を言ってもらいます。また、背浮き自体ができない子どものために、2ℓの空のペットボトルを利用して、身体が浮くことを体験します。スニーカーとゴムを使用したズックの浮き方の違いを見せま

す。洋服を着た状態で泳ぐことがいかに困難であるかも体験します。
③事故に遭遇した時に、海上保安庁や消防署のレスキュー隊が到着するまでの間、浮いて待つことを想定して8分間、「浮いて待て」状態をおこないます。

 活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

■私自身の子どもが、小学5年生の時に近くの川で遊んでいて、川が引いた時に海に流されてしまいました。そこでは、潮干狩りをする人が多く、すぐに助けて頂きましたが、何回となく多くの子どもが流され、助けた方が亡くられたり、子どもが死亡する事故が多発しています。川に遊びに行かないように注意しても、多くの方がいる場所のため、また、釣りに行き海に転落することもあります。海に流されたり転落した時に、自分の身を守り、消防署がかけつけて下さるまで、浮いて待つことを教えておきたいと思い始めました。泳いでは駄目な事を教えています。泳ぐ

ことで体力が消耗し、助けが来るまでにおぼれてしまうからです。最初は1つの学校で始め、毎年4～5小学校でさせていただいています。子どもたちは、「浮いて待て」の体験を通して、「自分の命を守る事を学びました」と言っています。「浮いて待て」を行なうにあたって、呉市教育委員会、各小学校、呉市消防署及び消防出張所の理解と協力が得られていることが、大きな成果と考えています。消防職員で泳げない方もいらっしゃいましたし、筋肉質の身体では浮けないことも分かりました。皆さん興味をしめして下さっています。



ほう酸団子作りと地域配布活動

二川地域活動連絡協議会(呉市)

現在の会員数：大人51人

事例data

実施日もしくは実施期間	2023年5月25日、26日、6月1日の3日間	参加人数	延べ15人
参加対象者	二川地域活動連絡協議会役員と会員有志	実施場所・実施会場	呉市二川児童館

活動の目的

■地域からゴキブリを根絶させ、きれいな衛生的なまちづくりを目指して、二川地域活動連絡協議会の会員がほう酸団子を作ります。

作ったほう酸団子を地域に配布し、地域全体にほう酸団子が置かれ、ゴキブリを根絶させることを目的としました。

具体的な活動内容

- ①ほう酸団子の材料である玉ねぎの皮をむき、刻み、みじん切りカッターで細かく刻みます。
- ②ほう酸と玉ねぎ・砂糖・牛乳・強力粉を混ぜあわせ、ペットボトルキャップに入れます。
- ③1週間陰干しをして、6個ずつ袋詰めをして、各家庭に配布します。
- ④各家庭で、袋から取り出して、台所や洗面所・トイレ等水回りの場所に置いてもらいます。

活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

■毎年行っています。徐々にゴキブリの死がいが多くなり、ゴキブリが出てくるのが少なくなったと地域の方々からの声をいただいています。地域以外にも、販売をして、各地域の方々からも喜ばれています。薬局で買うよりも格安で購入ができ、抜群な効き目で、評判も良く、毎年待たれている「ほう酸団子」となっています。

材料代を地域の公衆衛生事業として、地区社協から頂き、委託を受けて活動をしています。



交通安全キャンペーンに参加、協力

広島市地域活動連絡協議会

現在の会員数：53クラブ 3,251人

事例data

実施日もしくは実施期間	年に4回 広島市と各区定期開催	参加人数	年に4回、延べ約20人 マスコット作成は各クラブ役員
参加対象者	広島市地協役員で配布参加 マスコット作成は各クラブ	実施場所・実施会場	広島市役所付近・本通り付近

活動の目的

■交通安全キャンペーンに参加します。交通安全キャンペーンで配布するチラシに入れるマスコットを2000個余り作成し、単位クラブで新一年生や高齢者にマスコットを配布します。

交通安全キャンペーンに参加して街中で配布する活動にも参加協力し、交通安全を広め、事故の無い社会にしたいと願っています。

具体的な活動内容

■交通安全マスコットを各クラブで作成し、広島市の交通安全キャンペーンと各区の交通安全キャンペーンにも贈呈、また地域の小学校の新一年生や高齢者施設にも作成、贈呈しているところもあります。

又、交通安全キャンペーン当日には参加して配布をお手伝いしています。

活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

■交通安全キャンペーンへの参加は交通弱者である子どもを交通事故から守るために、マスコットを作成し、事故の無いように伝えたいという思いからです。毎年数回、市と区の開催があるのでそれぞれにマスコットを作成し、贈呈しています。交通安全協会から、黄色い札(今年の交通安全の標語を書いた)を作っていたマスコットにつけています。

子ども達はそのマスコット付き黄色札をランドセルにつけています。自分の身は自分で守る子どもになってほしいです。



子育てルーム く・す・な

楠那母親クラブ(広島市南区)

現在の会員数：大人60人

事例data

実施日もしくは実施期間	2004年5月からスタートし、毎月1回実施	参加人数	月1回7月(プール)・12月(クリスマス会) 15組位 月8組位 親110人 220人
参加対象者	地域の未就学児の親子(他地区からも)	実施場所・実施会場	楠那公民館

活動の目的

■就学前の親子のふれあいの場
月1回第4金曜日に公民館にて行います。

具体的な活動内容

■毎月本読み、手遊びなどを行います。
2か月に1度、保健師さんによる健康診断(保健センターより保健師さん参加)をします。
7月はプール遊び、12月はクリスマス会(サンタクロースを呼んで?)プレゼント配布をします。
誕生日に手形足形を取り名前を入れた色紙プレゼントをしています。

■子育てルームく・す・なで使うおもちゃはボールなどをのぞき、すべて手作りです。すべり台も人形も会員が手作りしています。活動内容は季節に合わせた行事をメインで行っていますが、どんなプログラムにしようか会員みんなと相談してアイデアを出しています。
公民館の掲示板に公民館だよりを貼り、地域のみなさんにお知らせをしています。母親クラブの活動がわかるチラシも毎年作成しています。

活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

■20年近く活動してきてうれしいことは当時0歳だった子が成人して、会えば今でも声をかけてくれることです。そして2023年度より行政から声がかかり、保健師さんによる検診を子育てルームで2か月に1度実施することになりました。この検診は誰でも受けることができます。別部屋で行っているのでも、子育ての相談なども安心してできます。
■月1回の実施ですが7月のプール・12月のクリスマス会は他地域からの参加者の口コミにより毎回多くの人を楽しみに参加しています。
誕生日には手形足形を取り名前などを記入して色紙を渡しています。

ハロウィンでは、かぼちゃを持った魔女が登場するサプライズ演出をし、とても喜ばれました。
丸々のかぼちゃを見るのが初めてだったらしく子ども達が興味を持っていました!
見るのは店でカットしているかぼちゃですからネ。



児童虐待防止活動(オレンジリボン運動)の取り組み

山口県地域活動連絡協議会

現在の会員数：46クラブ 1,288人

事例data

実施日もしくは実施期間	研修活動：年2回(7月、11月) 常時啓発活動：年間を通して 特別啓発活動：児童虐待防止推進月間(11月)	参加人数	研修活動：1回につき100人・延べ200人 啓発活動：イベント来場者500人以上
参加対象者	研修活動：県域会員 啓発活動：子育て支援イベント来場者	実施場所・実施会場	研修：研修会場のあるホテルや地域の施設 啓発：県内の子育て支援イベント実施会場等

活動の目的

■山口県地域活動連絡協議会は、児童虐待防止の意識啓発の推進を目的として、児童虐待の現状と防止活動について学び、地域での子育て支援活動に活かすことやオレンジリ

ボン運動の意義をより多くの人へ伝えるために、平成20年より継続した児童虐待防止活動(オレンジリボン運動)を実施しています。

具体的な活動内容

■山口県大会やブロック研修大会において、児童虐待防止に関する研修(講演等)を実施し、会員への活動周知を図り、山口県の189(いちはやく)サポーターに全会員が登録することで、山口県地域活動連絡協議会の統一事業として全会員が児童虐待防止活動に取り組んでいます。
啓発グッズとして、オリジナルデザインの缶バッジ(会員用と啓発配布用)、オレンジリボンマーク入り不織布バッグやクリアファイルなどを会員に配布して活用したり、認定NPO法人児童虐待防止全国ネットワークに会員登録し、公式グッズ

のオレンジリボンピンバッジやマスクなどを購入利用したりすることで、常時啓発を心がけています。
特に、11月の推進月間においては、子育て支援イベント等を利用し、オリジナルののぼり旗を掲げて、イベント来場者にオリジナルの啓発シールを貼ったグッズやチラシ、缶バッジなどを配布するオレンジリボンキャンペーンを実施しています。そして、それらの活動を掲載した会報誌「みらい子育てネットやまぐち」を年度末に発行し、会員や関係機関、団体等へ配布しています。

活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

■継続した実践活動により、山口県地域活動連絡協議会が児童虐待防止啓発活動を熱心に推進していることを、行政や関係機関、関係団体等に認識されるようになりました。
そして、児童福祉に関する行政関係の会議等への委員要請も増え、意見具申や提言等の機会を得ることができています。
各市町地協や各単位クラブにおいても、研修活動を通し

て、189(いちはやく)サポーターとして意識した啓発活動をすることができており、啓発活動推進月間には、学生や関係団体に対してのオリジナルデザイン缶バッジの提供や配布をすることで、他団体と連携した取り組みにもつながっています。
また、オリジナル啓発グッズの配布や会報誌の発行によって、山口県地域活動連絡協議会のPRや活動の周知を図ることもできています。



なかよし交流会

於福ほほえみの会(美祢市)

現在の会員数：34人

事例data

実施日もしくは実施期間	毎年1回 3月末(春休み)	参加人数	50人程度
参加対象者	地域の小学生 (卒業生と新1年生) 地域の大人(高齢者)、クラブ 会員	実施場所・実施会場	於福公民館

活動の目的

■地域の小学生、幼児、地域の方(高齢者)と会員が集い、ゲームや絵本の読み聞かせなどを通して、3世代交流を図ることを目的としています。

具体的な活動内容

■地域の公民館にその年の小学卒業生(6年)、新1年生、地域の方(高齢者)を招いて、交流の機会を設けています。
事前に製材所で作ってもらったかまぼこ板サイズの板に会員が赤、白、黄、青の4色を塗って4色の積み木を準備します。

当日は、自己紹介から始めて、4チームに分かれて「積み木じゃんけん」というゲームや絵本の読み聞かせなどを通して、子どもから高齢者までが仲良く交流します。

活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

■その年の卒業生と4月に入学する予定の新1年生という節目を迎えた子どもたちを招いて、地域の人(高齢者)とクラブ会員と一緒に交流することで、子どもの顔や名前を知ることができ、子どもたちを見守る地域のきずなづくりにつながります。

オリジナルの「積み木じゃんけん」は、年齢に関係なく平等に対戦でき、子どもも高齢者もみんなが参加できるゲームであり、毎回大盛り上がりで好評です。
コロナ禍での中止もありましたが、これからもクラブの楽しい活動として継続したいと思います。



子育て応援ふれあいフェスタ

愛媛県地域活動連絡協議会

現在の会員数：2クラブ 114人

事例data

実施日もしくは実施期間	2023年11月23日(木・祝)	参加人数	延べ178人
参加対象者	児童館利用者	実施場所・実施会場	えひめこどもの城

活動の目的

■参加者が木育や育児などに関する情報の交流を図るために、木のおもちゃに触れて遊んだり、木製の製作物を作ったりしながら、木の魅力を知るイベントを行います。

具体的な活動内容

■当日は、木に触れることができる遊びのコーナーや木製の作品を作る工作コーナーなどを合計8つ設けました。

【遊びコーナー】

- みかんの木積み
- 木のおもちゃで遊べるコーナー
- 木のパズルコーナー
- 紙コップみかんけん玉(芸術と遊び創造協会愛媛支部)

【工作コーナー】

- ロボッキー
- クロモジ(輪切り)のネックレス
- 釘ボード(砥部みらい会議)
- クリスマスツリー

この日の運営には、地域で活動をされている「とべみらい会議」や「芸術と遊び創造協会愛媛支部」の皆様にご協力いただきました。2時間という実施時間でしたが、多くのスタッフの方々に携わっていただいたため、大変多くの参加者に楽しんでいただくことが出来たと思います。
参加者の方々は幼児さんから小学生の割合が多かったのですが、兄弟姉妹で一緒について来ていた中学生～高校生くらいのお兄さん・お姉さんたちも、一緒になって木のおもちゃで遊んでくれる様子も見られました。
地域の方々と協力して創り上げることができ、幅広い世代の方々に楽しんでいただくイベントとなりました。

活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

■このイベントの魅力は、子ども達が木や木製の物と多様な関わりが出来る点にあると思います。直接触って木の木目を感じたり、クロモジの表面から香るほのかな匂いを嗅いだり、子ども達にとって様々な刺激になるのではないかと考えます。

参加した子ども達が、帰り際に、嬉しそうに自分が作った作品を見せてくれる姿がとても印象的でした。
また、今年は新しい木のおもちゃ(木製の絵本や動く乗り物など)も登場し、子育て世代の大人へ、今までにない木のおもちゃを知っていただく機会にもなったのではないかと思います。



『100円の大切さを知ろう』

松山みらいクラブ連絡協議会

現在の会員数：8クラブ 231人

事例data

実施日もしくは実施期間	2021年7月24日(土)	参加人数	親子15組
参加対象者	市内会員対象	実施場所・実施会場	松山総合福祉センター

 活動の目的

■ファイナンシャルプランナーさんをお招きし、幼稚園児から分かるお金のお話をさせていただきました。

■きっかけは、お小遣いの渡し方や時期についての相談が非常に多いことから「お金に関する話をしたい」と会員内で話題となりました。また、子どもが自らしっかりお金の大切さを理解し「計画的」に使えるようになるために子どもも参加できる内容にしたいと思いました。

 具体的な活動内容

■まずはじめに、きっかけの相談内容から出た話題より、子どもは「カブセルトイ」をよくするけど、出てきた中身を大切にするのは数日だけであり、どの家庭にもたくさんあるという意見が出ました。そこで子どもたちにとって一番身近なお金は「100円玉」であり、その1枚があったら何が買えるのかを考えるのが一番理解しやすいのではないかと、講師の先生と打ち合わせをし、市内にあるボードゲーム専門店にゲームを体験したのち、ピープルの「おかねがたまる!ハンバーガー屋さん」を採用することにしました。

■身近な100円玉(単価)を活用し、仕入れ、販売が体験できる「おかねがたまる!ハンバーガー屋さん」と、幼少期に考えるお金との出会い方や幼少期から身につけたいお金の知識についてご講演いただきました。

■ハンバーガー屋さんでは、材料を購入し、レシピ通りに揃えば原価に+利益を乗せて販売することができます。年中さんからしっかりゲームを理解しお金を貯めたり材料を仕入れたり、大いに盛り上がりました。

■お金を『手で触って、使って、自分のお金で何が出来るか考える』体験を通し、与えられたお金を使うだけでなく、うまく運用していくことの大切さ。買いたい物へ目標をたてる大切さ、また「そのためには」まで考えることができました。

 活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

■お金の大切さだけでなく、親への感謝を学ぶことができる機会となりました。親子で聞くことにより、より理解を含め今後の目標を立て、年始のお年玉に活かしたいとのことでした。

■保護者からは「お小遣い」を月払いにするのか、手伝い払いにするのか、またいつからにするのかなど、質問があり真剣にメモを取る姿も見えました。



プレーパーク

中島みらいクラブ(松山市)

現在の会員数：大人22人 子ども40人

事例data

実施日もしくは実施期間	プレーパークに限らず、月一回の遊び場を開催	参加人数	大人子ども含め50~60人
参加対象者	地域の子ども、大人、クラブ会員	実施場所・実施会場	地域の空地(プレーパーク会場)、グラウンド、地域の公共施設

 活動の目的

■自然豊かな環境ではあるものの、島内に子ども達の遊び場が少ないため、この自然の中で子ども達を自由にのびのび思いっきり遊ばせたい、そして大人も一緒になって遊びたいと思い立ち、自分たちのやってみる形にしてみることで、子どもも大人もいきいきと楽し

んで子育てできるよう後押しできる活動をしています。当時のメンバーのお母さんでプレーパークを知ってる方がおられ、それに賛同した数名のお母さん達で立ち上げました。

 具体的な活動内容

■立ち上げ当初はプレーパークって何?というところから始まりました。それに関わる方々をお呼び一緒に活動していただき教わりました。また、場所についても色々探し、地域の場所をお借りするので、地域に出向いてお願いに行ったりしました。地域の方々は子ども達のためならと快く承諾くださり、今でも温かく見守っていただいているので本当に感謝しています。

■外遊び中心のプレーパーク
プレーパークとは赤ちゃんから大人まで自由にのびのび自分の責任で遊ぶ場です。
チラシを作成し保育園、小学校に配布したりスーパーや公共施設に掲示しクラブだけでなく地域の子ども達、親

子にたくさん来ていただけるよう告知します。企画運営当日のお世話等担当を決めてクラブ内で協力して運営しています。

■プレーパークでは大きなロープを結んだりその都度遊びを変えたり、みんなで食事することもあるのですが、人手不足でお母さん達だけでは出来ない事もあります。その時には得意な方やお父さん、地元の高校生や地域の方々をお願いする事があります。皆さんに協力していただき成り立っています。

 活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

■普段関わりの少ない乳幼児と小学生の交流、異世代のお母さん、ボランティアの高校生、地域の人達と交流することで、人との繋がりが広がり豊かな人間関係を築けます。
外遊びで思いっきり遊ぶことで普段見れない表情が

見れたり、笑顔が溢れ、みんなが元気になります。お母さん達が今子どもとしたいことを企画運営する事でより達成感もあり、皆さんに喜ばれています。何よりその時々で子ども達の成長を側で見れたり感じる事ができると喜ばれています。



児童虐待防止キャンペーン・非行防止キャンペーン

北九州市地域活動連絡協議会

現在の会員数：11クラブ 513人

事例data

実施日もしくは実施期間	2023年11月13日(月)	参加人数	クラブ会員35人 行政2人 福祉事業団2人 市民300人
参加対象者	クラブ会員、行政、 福祉事業団、 市民(小倉駅・広場に往来する 方)	実施場所・実施会場	JR小倉駅・ジャム広場

 活動の目的

■児童をとりまく社会環境への啓発活動として、児童虐待防止・青少年非行防止・児童健全育成啓発を行います。

 具体的な活動内容

■児童虐待防止は平成26年から、非行防止は発足当初から活動して40年ほど啓発活動に取り組んでいます。今年度は、小倉駅ジャム広場で道行く人たちに啓発物パンフレットと花の苗を配布します。配布する際には、虐待防止・非行防止のキャンペーンにご協力くださいと声掛けをします。今回は各300部用意しました。

 活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

- 配布する啓発物のパンフレットでキャンペーンの活動の意味をアピールするとともに、母親クラブの活動についてもPRすることができました。コロナ禍で活動に様々な制限がありましたが、4年ぶりに屋外で行き交う人々と交流し、活動することができて嬉しかったです。
- 啓発物を受け取った方からはつぎのような感想をいただきました。
 - ・すばらしい活動で母親クラブについても何なのかわかりました。
 - ・僕も子どものとき父親から不適切な養育をされていた。虐待というものがどういうことかパンフレットを見てよくわかります。
 - ・子どもは宝物です。大事に育てていきたいです。



いきいき子ども講座「楽しいマジックショー」

牧山児童館母親クラブ(北九州市小倉北区)

現在の会員数：大人33人

事例data

実施日もしくは実施期間	2023年9月16日(土)	参加人数	37人
参加対象者	学童の子、幼児、保護者、 クラブ会員	実施場所・実施会場	牧山児童館

 活動の目的

■コロナ禍で活動できなかった“いきいき子ども講座”を復活させたいと思い、子どもたちが笑顔になれる行事を計画し、幼児やその保護者の方の参加も増やしていきたいと企画しました。

 具体的な活動内容

■コロナ禍以降、初めての対面行事です。児童館で学童の子どもたち、保護者、幼児、クラブ会員、児童厚生員が集まり、マジックを楽しみます。講師の方はボランティアで活動されている方をお願いをしました。参加者にはクラブと児童厚生員から参加賞を渡します。

 活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

- マジックショーをしていると子どもたちが前へ前へ近づいていき、夢中になって講師の方と一緒に楽しんでいました。いきいき子ども講座も久しぶりに実施できたことに喜びを感じました。子どもたちの笑顔が最高でした。
- 参加者からは
 - ・久しぶりの行事で楽しかった
 - ・マジックの人がおもしろかった
 - ・参加賞がうれしかった
 - ・もっとしてほしかった
 - など感想をいただきました。
- “いきいき子ども講座”について
 - 年に3～4回、30年活動を続けてきました。嬉しいことに、当時子どもだった参加者が今ではお母さんになり、お子さんを連れて遊びにきてくれます。また行政の方も参加してくれることもあります。
 - コロナ禍以前は調理のプログラムもたくさんありました。戦時中の食事体験などの講座も復活できれば今の子どもたちに伝えていきたいです。
 - また、子どもたちがやりたい事を子どもたちで内容を考えプログラムを組む講座もあり、児童館職員の方にもご協力いただいています。子どもたちが主体的に行う講座はサポートする体制で母親クラブは活動しています。



市立図書館で月第2・4土曜日に行う“お話し会”

東与賀よいしょクラブ(佐賀市)

現在の会員数：28人

事例data

実施日もしくは実施期間	2023年1月～12月	参加人数	1回につき10人延べ240人
参加対象者	児童クラブの子どもと先生、地域の大人・地域の子ども	実施場所・実施会場	佐賀市立図書館東与賀館

旗活動の目的

■ 地域の子どもたちに、もっと絵本に親んでもらいたい!!
内容は絵本、エプロンシアター、工作などで親子でも楽しめるように企画しています。

■ 図書館とつながるきっかけは、当クラブの会員が図書館でのお話ボランティアも行っており、図書館からお誘いをいただき現在の活動につながっています。

旗具体的な活動内容

- 図書館の職員さんと協力しながら、絵本を2、3冊読んで、工作をします。
- 工作は季節に合わせた折り紙や紙コップ等を使用しています。
- 作ったものは持ち帰り、参加してくれた子どもたちは喜んで帰っていきます。

■ 絵本の選定はよいしょクラブの会員が行い、様々な年齢の子に合わせて数冊選び、事前に読みこんでからお話し会を実施しています。

活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

■ 児童クラブの子どもたちは毎回参加してくれます。楽しみにしてくれているのでいつもとても嬉しいです。コロナ禍によりお話し会が中止になっていたのですが、再開できて地域の子どもたちにもこの活動は楽しみのひとつになっているようです。

■ 子どもたちの笑顔や反応が活動の活力になっています。読み手側もどういった内容にするか考えるのもワクワク楽しみながら活動しています。図書館の方からも協力的にサポートしていただけています。



椎茸菌うち体験

りんどうクラブ(熊本市)

現在の会員数：大人25人 子ども25人

事例data

実施日もしくは実施期間	2022年4月2日(土)～4月5日(火)	参加人数	1回につき10人延べ30人
参加対象者	地域の大人、クラブ会員	実施場所・実施会場	豊野町竹山

旗活動の目的

■ 地域の特徴を生かした活動をし、多様な人間関係に触れる体験活動を行います。コロナ禍ということもありますが、自然の中で活動することで、大人も子どもも大らかな気持ちで笑顔が溢れる環境を設定しました。

音、香り、景色を観る、触れたりするなど、なるべく五感がフル回転する体験となるように心がけました。

旗具体的な活動内容

- 豊野町地域の方のご協力をいただき、昔ながらの椎茸作りを親子で体験しました。大自然の中で、おじいちゃん先生たちと一緒にくぬぎの木に穴をあけるところから体験を始めました。初めて使うインパクトドリルやハンマー、正しく安全に使えるように指導していただき、大人も子どもも上手に使うことができました。子どもたちのお父さんお母さん、おじいちゃんおばあちゃんの参加もあり、自然の中で五感を使い体験することができました。

ドリルの音、ハンマーで木を叩く音が森に響いていいリズムを醸し出していました。くぬぎの木を抱えてみると、思っていた以上に木が重いことに気づいた子もいました。自然の中では新型コロナウイルスもあまり気にせず、大人も子どもも笑顔になります。それゆえに、発想、創造、探究する自由な時間となることを願って活動をしました。

活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

- 椎茸の菌打ちを初めてやって楽しかった。
- 眺めのいいところで体験できてよかった。
- 道具を初めて使った。
- 大人より子どもの方が上手だった。
- 虫が沢山いて可愛かった。
- ハートの葉っぱがあったのに気づいた。
- 鼻炎が治った。

- 今度はお弁当持って来たい。
 - 楽しかったから子どもを怒らずに済んだ。
 - おじいちゃんたちが優しくかった。
 - 毎回クラブのイベントを楽しみにしている。
 - 次もぜひ参加したい。
- などの反響がありました。



母親クラブ指導者・事務担当者研修会

大分県地域活動連絡協議会

現在の会員数：12クラブ 259人

事例data

実施日もしくは実施期間	2023年9月21日(木)	参加人数	26人
参加対象者	クラブ会員、行政、福祉関係者	実施場所・実施会場	ホテルサンバリーアネックス

活動の目的

■行政、児童館、他機関、団体等と連携して児童福祉関連の事業を行い、児童福祉の向上に寄与する活動として、講演・研修会を実施します。

具体的な活動内容

■研修会に一人でも多くの方に参加してもらうために、毎年興味深い内容を意識し、役員一同で演題や講師を選びます。
2022年度は「ヤングケアラー」について、大分県の現状や連携して行く支援のあり方など、厚生労働省の資料

を参考にし、母親クラブで出来ることを模索しました。
2023年度は学生にも身近な危険となってしまう「薬物依存」について大分ダルクの方に講演を依頼しました。薬物依存症回復のための施設のことや、当事者の5名の方から現在のそれぞれの想いを語ってもらいました。

活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

■参加者からはつぎのような声がかきました。
・講演の中で、犯罪を犯す人の中には母親のいない人が多いということを聞き、母親の役割の大切さも改めて感じました。
・依存症にもいろいろな症状があるということがよくわかりました。
・入所者の方から実際の取り組み等を聞くことができ、とても良かったです。また、講演していただいたダルクの方から、「皆様の会に参加することができたことに感謝します。仲間たちにたくさんの優しい心をいただきました。私たちの心も癒されました。ありがとうございます。」とお手紙をいただきました。

■近年うれしいことは、会員が仕事で平日参加できない時に児童館の先生や行政の方々が参加していただけていることです。短時間ではありましたが、会員間、行政担当者との交流ができました。また、活動において県地協のチームワークの良さを常々感じる事ができます。これからも、私たちに出来ることをみんなで考えて地域と一緒に活動していきたいと思えます。



こども祭り

匠南母親クラブ(佐伯市)

現在の会員数：大人20人 子ども27人

事例data

実施日もしくは実施期間	2022年9月10日(土)	参加人数	300人以上
参加対象者	地域の大人、地域の子ども、母親クラブ会員	実施場所・実施会場	公民館

活動の目的

■上堅田小学校区の親子を対象に毎年開催しています。当小学校区には、中山母親クラブと匠南母親クラブが

あり、二つのクラブと上堅田地区社会福祉協議会の共催で家族連れでのふれあいを目的に行っています。

具体的な活動内容

■「こども祭り」は平成10年に始まり27年続いています。輪投げ、くじ引き、メダカすくい、ポップコーンがセットになったお楽しみ券やかき氷券や遊びのコーナー「スト

ライクレーナー・公式輪投げ・手作りの水鉄砲・鮎のつかみ取り」等に300人以上の家族連れで賑わいました。

活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

■コロナ禍のため、4年ぶりの開催となりました。当日は天気にも恵まれ多くの方が久しぶりのこども祭りを楽しみました。地域の区長会・消防団・民生委員・PTA等、上堅田地区社会福祉協議会の方々と母親クラブの共催で毎年開催しています。

地域にある障がい者福祉施設のエバーグリーンもパンやクッキーなど販売して地域のみなさんとの交流を深めています。年々参加者が増え、子ども達をはじめ、おじいちゃん、おばあちゃんの参加もあり、地域のイベントとして根付いてきています。



2022未来みやざき子育て応援フェスティバル

宮崎県地域活動連絡協議会

現在の会員数：12クラブ 495人

事例data

実施日もしくは実施期間	毎年11月の土日の2日間 2022年11月12日(土)～ 13日(日)	参加人数	2,000人
参加対象者	子育て家族	実施場所・実施会場	宮交シティのアポロ乃泉・ ガリバー広場・紫陽花ホール

 活動の目的

■子育て支援団体等による子育て中の親子等を対象としたフェスティバルを開催することで、来場者に子育ての喜び、楽しさを実感してもらうとともに、団体間の交流や情報交換を行うことにより、「ひなたの出逢い・子育て応援運動」の一層の進展を図ります。

※「ひなたの出逢い・子育て応援運動」とは宮崎県では、出逢い・子育てを応援する取組を通して、希望どおりに家庭を持つことができ、子育てを楽しみ感じられるみやざきづくりを推進する「ひなたの出逢い・子育て応援運動」を実施しています。(出典:宮崎県 <https://www.pref.miyazaki.lg.jp/>)

 具体的な活動内容

■毎年4月より実行委員会を立ち上げ、月1回の会議を行います。
■行政・企業・民間の子育てを応援する団体に参加を募り、説明会を行います。

■大学や専門学校等の学生にボランティアを依頼します。
■宮崎県地域活動連絡協議会は第1回目から子育てネットワーク(支援団体のあつまり)として関わってきました。地域の支援のあり方を考える活動をしています。

活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

■参加者アンケートでは参加した目的として一番多い回答は「子どもの遊び・体験」でした。そのほか、「子どもの成長の相談」、「行政・企業・支援団体の情報入手」などがありました。

■感染症対策を行い実施運営したことについても概ね好評で、スムーズに安心して見て回ることができ、子どもたちも遊ばせやすく楽しそうにできたとの声がありました。一方で案内が不十分という意見もありました。



宮崎県 こどもカフェどんげね

みなと児童館地域活動クラブめばえ(都農町)

現在の会員数：73人

事例data

実施日もしくは実施期間	毎月第3土曜日12時から14時	参加人数	100人
参加対象者	町内のみなさん	実施場所・実施会場	みなと児童館

 活動の目的

■“どんげね”は“どう?元気にしている?”という意味合いをもつ、宮崎弁です。宮崎らしく、親しみをもって来てくれるといいなという願いを込めてつけました。手作りの食事を地域の方みんなで食べる活動をしています。

■利用者同士が顔見知りになり、日常的な交流に発展して、子育て世代・祖父母の育児世帯・一人暮らしの高齢者・障がいをもつ方など、コミュニティの広がりを担ってほしいと考えます。また、子どもスタッフや若い父母のスタッフ参加を開拓する目的も持ちます。

 具体的な活動内容

■毎月の献立はクラブ会員が考案しています。旬の食材を用いて、煮物など昔ながらの献立を意識しています。毎月70食、クリスマスは110食を準備します。1か月前から献立と買い出しや仕込みのスケジュールを計画し、活動の2週間前から当日にすぐ料理が作れるように、少しずつ仕込んで冷凍します。スタッフは10人、子どもスタッフは4～5人です。みんなで作るのは、前日と当日午前で作ります。

スタッフがおかずやご飯の前におり、地域のみなさんがお盆をもって盛り付ける方法で給仕しています。その際に、スタッフがみなさんに声をかけて交流しています。この活動を続けて6年ほどになります。コロナ禍は活動できない時期もありましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮して近年はテイクアウトで実施しています。

活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等

■この活動は基本は無料ですが、募金箱を設置し、活動を応援してもらっています。この活動が維持できるように、食材の寄付者や協力者を開拓していくことも必要です。この活動を通して、クラブ会員のつながりがとても強くなりました。また、日常的に児童館がみんなの居場所になったり、人のつながりが生まれました。一緒に食べると心が近くなるし、楽しいですね。この活動のキャッチフレーズは「心もお腹も満たされる!」です。嬉しかったことは、「ちょっとでも良いことをしてあの世にいこうや」という気持ちをもっている人たちが地域

にしてくれたこと、そういう方たちがいることが、子どもたちにとっても良いことだと思います。参加される方からはつぎのようなお声をいただいています。

- 参加してとても楽しい時間が過ごせました。
- 手作りの食事も毎回おいしく頂いています。友達を誘ってまた行きたいと思います。
- 町内の方とお知り合いになり、うれしい出会いとなりました。



朗読劇

紙ふうせん(南さつま市)

現在の会員数：20人

事例data

実施日もしくは実施期間	2023年8月～11月	参加人数	20人
参加対象者	紙ふうせん会員	実施場所・実施会場	南さつま市いにしへホール

 活動の目的

- キッズランド児童館を拠点として地域の子どもの健全育成を目指して、活動しています。お互いの親睦を図りながら、子育てや日常生活の問題等、身近なことから気軽に話し合いみんなで考えます。今回は子どもたちへ昔話を伝承する活動を通して、朗読劇で地域の文化祭に出演します。

 具体的な活動内容

- いくつかの演目の中から今回は子どもから大人まで親しみのある昔話「かさこ地蔵」を披露しました。会員も高齢になり、不安が大きく練習を週一回と何度も重ね本番を迎えることが出来ました。

活動の成果や効果、参加者からの感想や反響等



- 会員も高齢者となり、不安が大きかったですが会員の合言葉「心を一つにして頑張ろう」に励まされ頑張ることができました。子どもから大人まで「感動しました」という言葉に今まで活動してきて良かったと思いました。
- セリフを覚えるのに時間がかかりましたが、最後までやり遂げることで、達成感を味わうことが出来、活動は生きがいとなります。
- 観客から昔話を大切にしていきたいという声もありました。これからも地域の行事に参加し朗読劇を披露し広めていきたいと思います。



地域活動(母親クラブ)の大きな活動の柱

「5つの活動」

01

親子や世代間の交流・文化活動

キャンプやハイキング、季節の行事、多世代交流会といった活動を行い、子ども同士や親子、高齢者との交流を深めています。

02

児童養育に関する研修活動

子どもの健全育成のために、各種講演会、研修会への参加や施設見学など、会員自身の資質の向上を目指した活動を行っています。

03

児童事故防止のための活動

遊び場や遊具の点検、交通安全指導、防犯パトロールなど、事故や犯罪、非行やいじめなどから子どもたちを未然に守ることも大切な活動の一つです。

04

児童福祉の向上に寄与する活動

行政機関や各種団体との連携を密にしながら、広報や児童館祭り、保育園・幼稚園・小学校などの行事への共催も行っています。

05

日曜等児童館利用活動

日曜日・祝日等に児童館などの施設を利用し児童の居場所の確保を図るとともに、親子行事の諸活動を行っています。

全国地域活動連絡協議会の概要

1 目的

家庭および地域社会において児童の健全な育成を推進するため、地域活動の促進を図り、もって児童福祉の向上に資する

2 事業

- (1) 地域活動に関する知識の普及
- (2) 地域活動の向上に関する相互研究および情報の交換
- (3) 傷害見舞金制度の運営に関すること
- (4) 関係諸機関、諸団体との連絡協調
- (5) その他

3 会員

都道府県(指定都市・中核市)地域活動連絡協議会 28組織

沿革

- 昭和の初め 母親を中心とした組織が全国各地で誕生。
- 昭和23年 厚生省児童家庭局から「母親クラブ結成及び運営要項」が出される。
 - 昭和30年 群馬県を皮切りに県組織が次々と誕生。
 - 昭和48年 全国規模の指導者研修会を和歌山県で開催。
 - 昭和49年 10月1日に「全国母親クラブ連絡協議会」が設立される。
 - 平成14年 名称を「全国地域活動連絡協議会」とし、略称「全地協」、愛称を「みらい子育てネット」とする。この間、「遊び場の遊具点検」「公園の防犯点検」、「児童虐待防止」の取り組みを展開。現在28の県、市の組織が会員となっている。令和6年度に設立50周年を迎える。

傷害見舞金制度『みらい』について

● 制度の目的

この制度は全国地域活動連絡協議会(以下、全地協)の会員(単位クラブ)が利用できるものです。単位クラブの皆様が安心して活動していただくために、単位クラブの活動中の傷害事故に対するお見舞いや賠償責任を負った場合の備えとして実施しており、単位クラブの運営に不可欠な制度です。

● 制度の仕組み

単位クラブの会員や会員の子が単位クラブ活動中にケガをされたり、死亡された場合に、全地協が「傷害見舞金規定」に従って、その単位クラブに対して見舞金をお支払いする傷害見舞金制度と単位クラブのボランティア活動中の事故により、単位クラブ所属のボランティア(会員・児童)が法律上の賠償責任を負った場合の賠償責任保険制度をセットしたものです。



まちの子はみんなわが子

地域活動(母親クラブ) 活動事例集 —2023—

発行日：2024年1月31日

発行：全国地域活動連絡協議会

〒150-0002東京都渋谷区渋谷2-12-15日本薬学会ビル7F

TEL 03-3797-8183 FAX 03-3486-5142 MAIL jimukyoku@hahaoya-club.ne.jp

編集：全国地域活動連絡協議会事務局

制作：東洋美術印刷株式会社



全国地域活動連絡協議会